

TOA ソフトウェア取扱説明書 (Ver. 5.0 以降に対応)

サウンドリピーター

EV-20R
PM-20EV
EV-20A
EV-20S

※ このソフトウェア取扱説明書は、データ転送ソフトウェアのバージョン 5.0 以降に対応しています。

パソコンにデータ転送ソフトウェアの異なるバージョンのものをすでにインストールされている場合は、インストーラーを使ってそれを一度削除（修復ではなく）した後、再度インストーラーを起動させてバージョン 5.0 以降のものをインストールしてください。（ P.5）

バージョンの確認方法

すでにインストールしているソフトウェアのバージョンを確認するには、メニューバーから「ヘルプ→バージョン情報」をクリックしてください。

以下のバージョン情報画面が表示されます。



※ データ転送ソフトウェアの画面に表示されている S-20S は、海外向けに発売されている機種です。

このたびは、TOA サウンドリピーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこのソフトウェア取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

ソフトウェアの概要	3
使用上のご注意	3
システムの条件	3
CD-ROM のファイル構成	4
ソフトウェアのインストールのしかた	5
ソフトウェアを起動する	13
画面の説明	14
サウンドリピーターメモリーエリア	14
情報	14
本体制御	15
メモリーボタン	15
音源データ情報	15
PC のハードディスクエリア	16
情報	17
メモリーボタン	17
登録状況	17
その他	17
WAVE ファイル試聴エリア	18
使用できる音源データ	19
サンプルメッセージ	19
音源データを作成する場合	20
WAVE ファイルを連結して新しいファイルを作成する	21
音源データをサウンドリピーターに転送する	24
機器単位で作成してサウンドリピーターに書き込む	24
音源データ単位でサウンドリピーターに書き込む	30
音源データを1つずつ書き込む	30
音源データを1つずつ消去する	32
録音データをバックアップする	33
機器単位でバックアップする	33
音源データを1つずつバックアップする	36
バックアップデータを転送する	38
サウンドリピーター本体を制御する	42
再生する	42
録音する (EV-20S を除く)	43
フォーマットをする	44
起動する (EV-20A のみ)	48
スマートメディアを初期化する (EV-20A のみ)	49
故障かな?と思ったら	51

ソフトウェアの概要

このソフトウェアは、サウンドリピーターとパソコン間で通信を行うためのデータ転送ソフトウェアです。音源データの転送を双方向で行えます。

同じ CD-ROM 内の「サンプルメッセージ」フォルダーに、使用場面や用途に応じた定型アナウンス、チャイム音、BGM などのサンプルメッセージを入れていますので、併せてお使いいただくと便利です。

使用上のご注意

- このソフトウェア取扱説明書が入っている CD-ROM はオーディオ用ではありません。一般のオーディオ用 CD プレーヤーでは使用しないでください。
 - この CD-ROM を直射日光の下にさらさないようにしてください。データが失われる恐れがあります。
 - サウンドリピーターが次の状態にあるときは、電源の入り切り、または USB ケーブルの抜き差しをしないでください。
パソコンが停止することがあります。
 - ・ドライバーまたはドライバーのインストール中
 - ・OS の起動中、または終了の途中
 - ・サスペンド、レジューム中
 - ・サウンドリピーターとパソコン間のデータ転送中
 - ・音源書き込み中または読み込み中
 - ・USB 通信表示灯が点灯中
- また、次のことを行ったときにも、パソコンが停止することがありますので、行わないでください。
- ・頻繁な電源の入り切り
 - ・頻繁な USB ケーブルの抜き差し
- このソフトウェアは、必ずインストーラーを使用してインストールしてください。（実行ファイルだけをコピーしたりしないでください。）
また、インストール後は、実行ファイルやその他のファイルの移動は行わないでください。
このソフトウェアの機能が動作しなくなる場合があります。
- この CD-ROM 内のサンプルメッセージは、EV-20R、PM-20EV、EV-20A、EV-20S でのみ利用できます。その他の製品には使用しないでください。指定以外の製品に使用したい場合は、当社営業所までお問い合わせください。

システムの条件

このソフトウェアを正常に動作させるために、パソコンは以下の条件を推奨します。

対 応 パ ソ コ ン	Windows PC (USB 端子装備)
パ ソ コ ン 仕 様	CPU : Pentium4 2 GHz 以上 メモリー : 2 GB 以上 空きディスク容量 : 10 MB 以上 (メッセージ保存用を除く) 光学ドライブ : CD-ROM ドライブ
使 用 O S	Windows 7 Professional (32/64 ビット版) / 8.1 Pro (64 ビット版) / 10 Pro (64 ビット版)

※ Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

※ Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

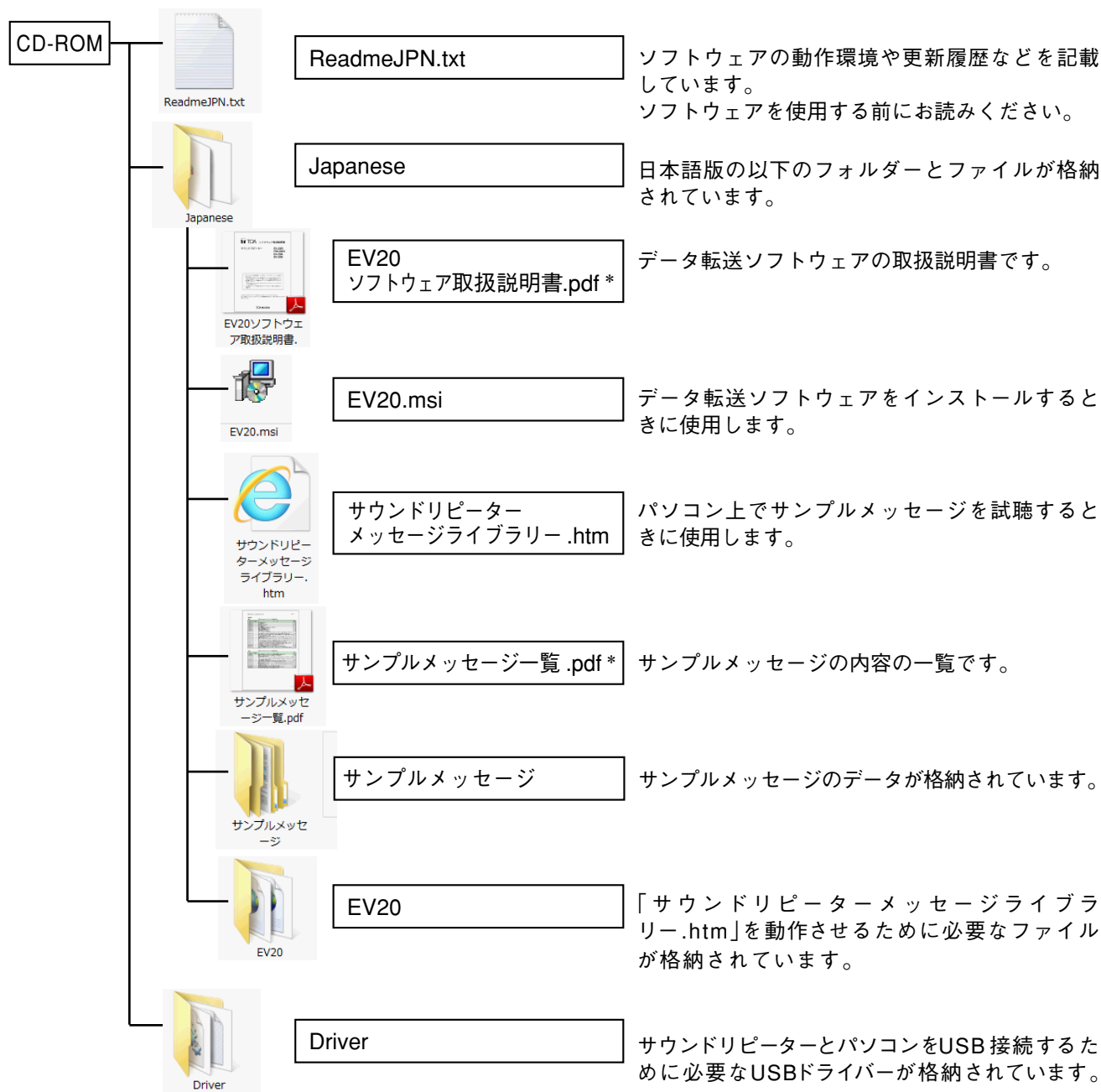
ご注意 Windows 8.1 および 10 の 32 ビット版には対応していません。

本書での記載について

本書ではこのソフトウェアを Windows 7 で動作させたときの画面で説明しています。
パソコンの操作に関する部分も Windows 7 の場合で説明しています。

CD-ROM のファイル構成

サウンドリピーターに付属の CD-ROM のファイル構成は、以下のとおりです。



* このファイルを表示させるためには Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader がインストールされていない場合は、Adobe の Web サイトからダウンロードしてください。

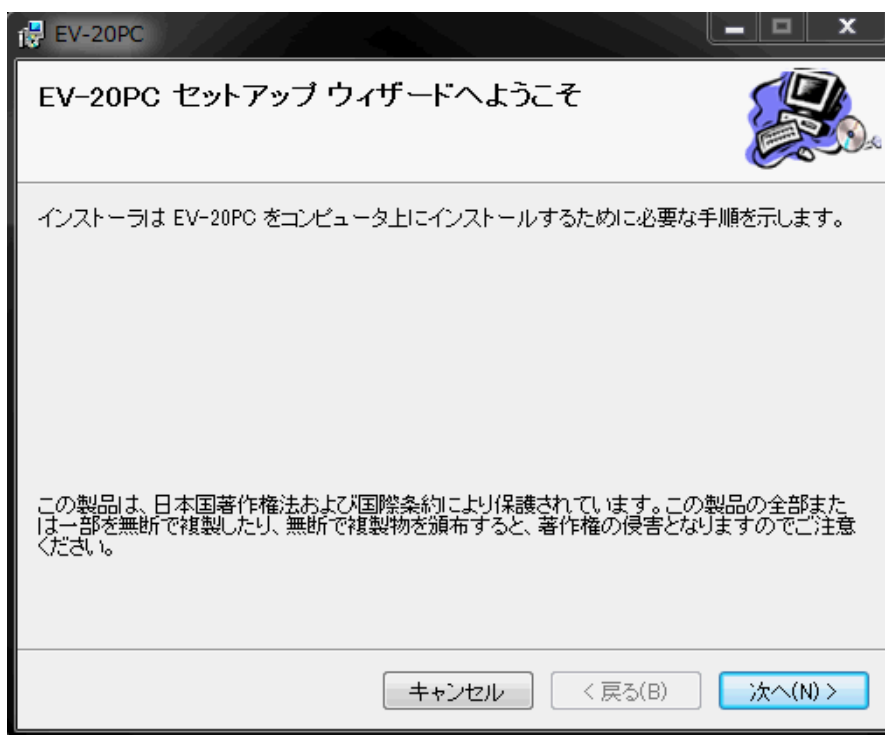
※ Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

ソフトウェアのインストールのしかた

USB の機能を使用するためには、パソコンにソフトウェアを正しくインストールしてください。

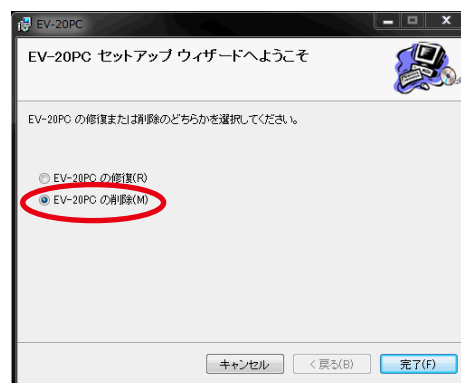
[Windows 7 の場合]

- 1 パソコンを起動する。
- 2 CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに挿入する。
- 3 [スタート→コンピューター→CD-ROM ドライブ] をダブルクリックする。
- 4 [Japanese] を選択し、[EV20.msi] をダブルクリックする。
パソコンに、下のような画面が表示されます。



ご注意

パソコンにデータ転送ソフトウェアをすでにインストールされている場合は、右のような画面が表示されます。そのときは、「EV-20PC の削除」ボタンを選択してから完了ボタンを押し、画面の指示に従って、すでにインストールされているものを削除してください。削除完了後、再度手順 4 の操作をしてください。



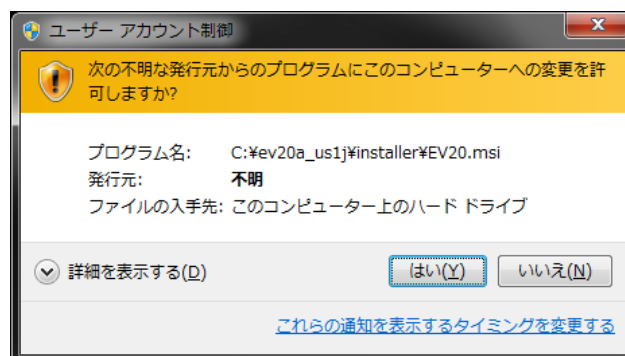
5 インストールが完了するまで、画面の指示に従って [次へ] ボタンをクリックする。



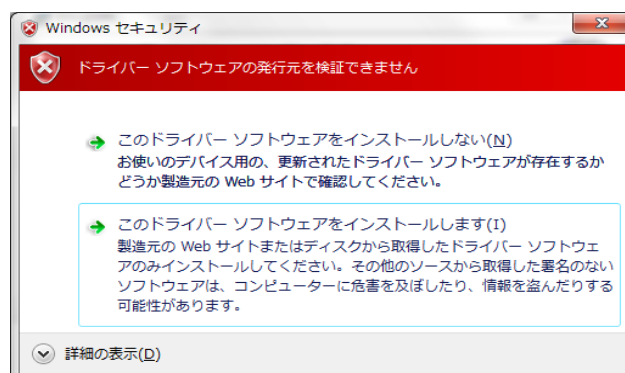
データ転送ソフトウェア「EV20man.exe」ファイルが、指定フォルダー（デフォルトは、C:\Program Files\EV-20PC\）にインストールされました。

メ モ

- インストールの途中で、右のようなユーザーアカウント制御ダイアログが表示される場合があります。
表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



- インストールの途中で、右のような Windows セキュリティダイアログが表示される場合があります。
表示された場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックしてインストールを続行してください。

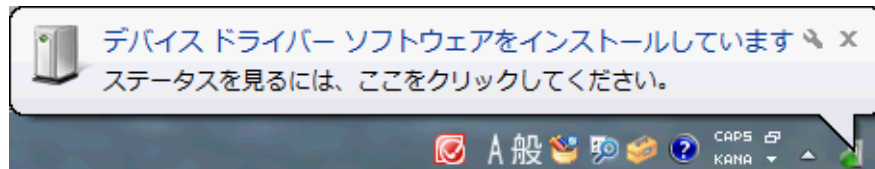


6 [閉じる] ボタンをクリックする。

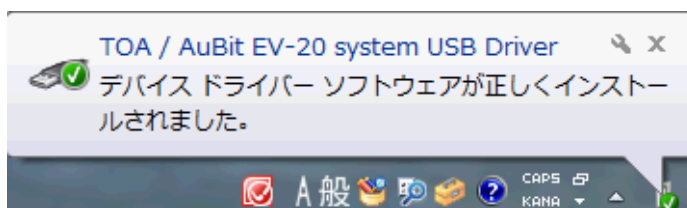
画面が消え、ソフトウェアのインストールを終了します。

[デスクトップ] にショートカット  が作成されています。
続いて、USB ドライバーをインストールします。

- 7 サウンドリピーターの電源が切れていることを確認する。
- 8 付属の USB ケーブルを使って、サウンドリピーターの USB 端子と、パソコンまたは USB ハブの USB 端子を接続する。
- 9 サウンドリピーターに電源を供給する。
パソコンに、下のような画面が表示されます。



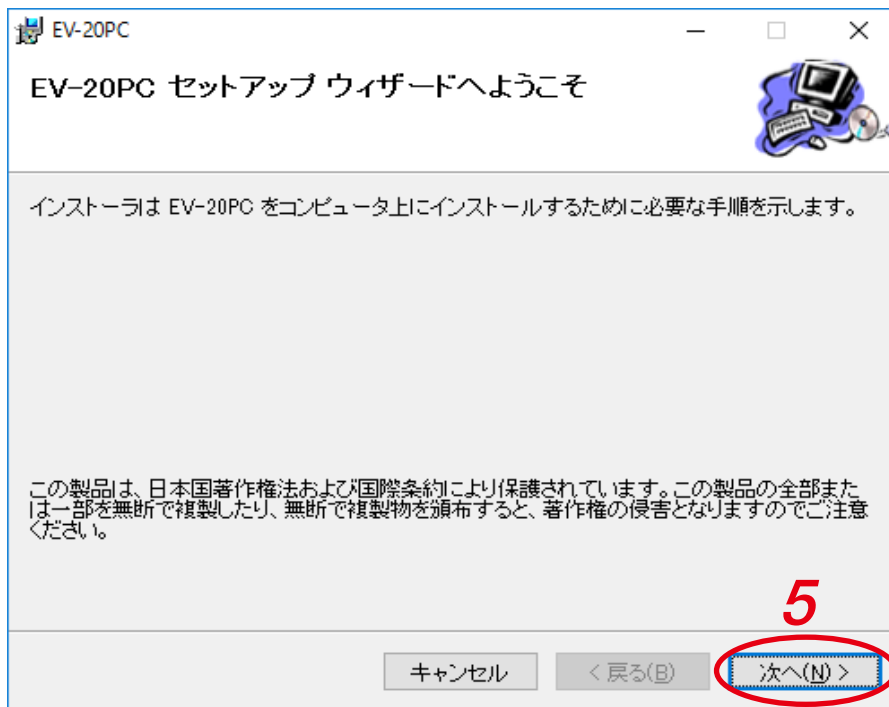
数秒後、下のような画面が表示されます。



画面右上の閉じる (x) ボタンをクリックして、ドライバのインストールを終了します。

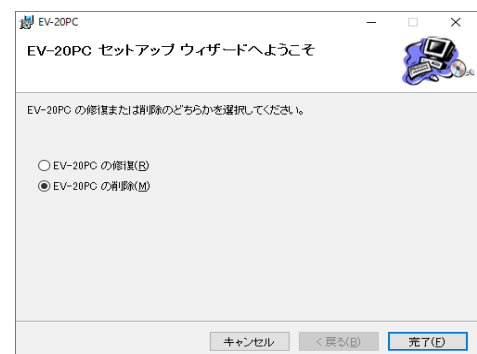
[Windows 8.1/10 の場合]

- 1 パソコンを起動する。
- 2 CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに挿入する。
- 3 エクスプローラーを開き、CD-ROM ドライブをクリックする。
CD-ROM の各フォルダーが表示されます。
- 4 [Japanese] を選択し、[EV20.msi] をダブルクリックする。
パソコンに、下のような画面が表示されます。

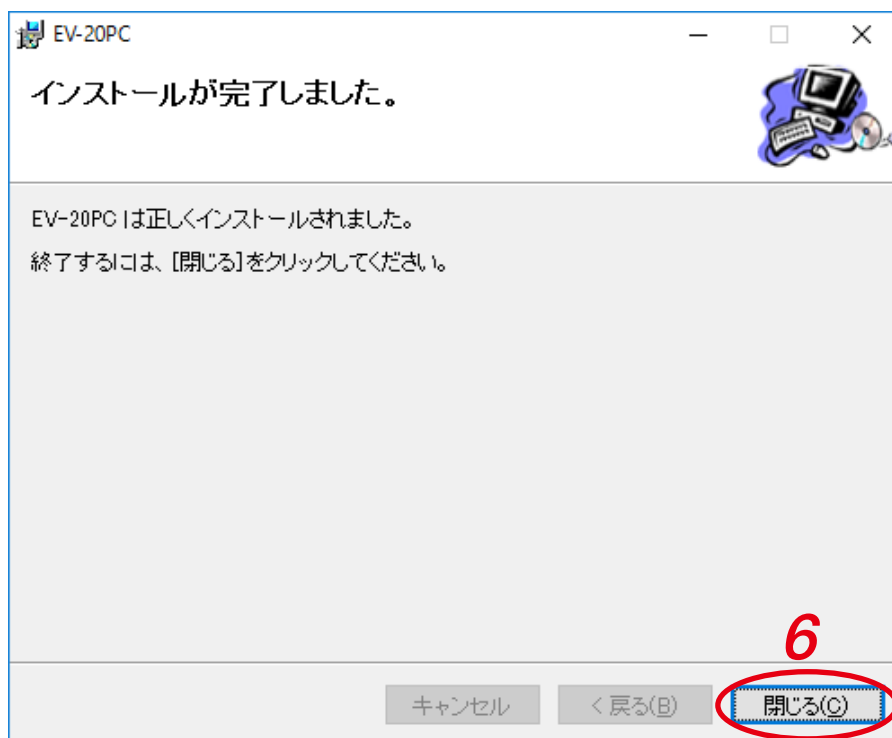


ご注意

パソコンにデータ転送ソフトウェアをすでにインストールされている場合は、右のような画面が表示されます。
そのときは、「EV-20PC の削除」ボタンを選択してから完了ボタンを押し、画面の指示に従って、すでにインストールされているものを削除してください。
削除完了後、再度手順 4 の操作をしてください。



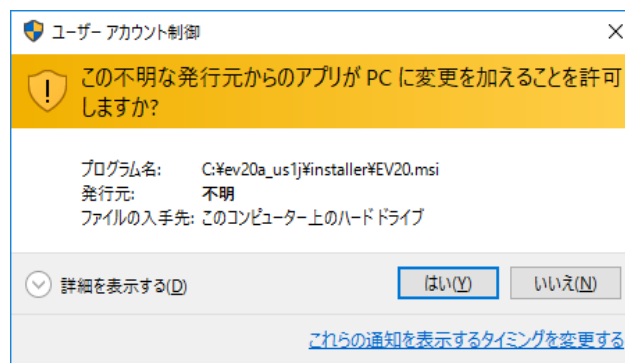
5 インストールが完了するまで、画面の指示に従って [次へ] ボタンをクリックする。



データ転送ソフトウェア「EV20man.exe」ファイルが、指定フォルダー（デフォルトは、C:\Program Files\EV-20PC\）にインストールされました。

メモ

インストールの途中で、右のようなユーザーアカウント制御ダイアログが表示される場合があります。
表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



6 [閉じる] ボタンをクリックする。

画面が消え、ソフトウェアのインストールを終了します。

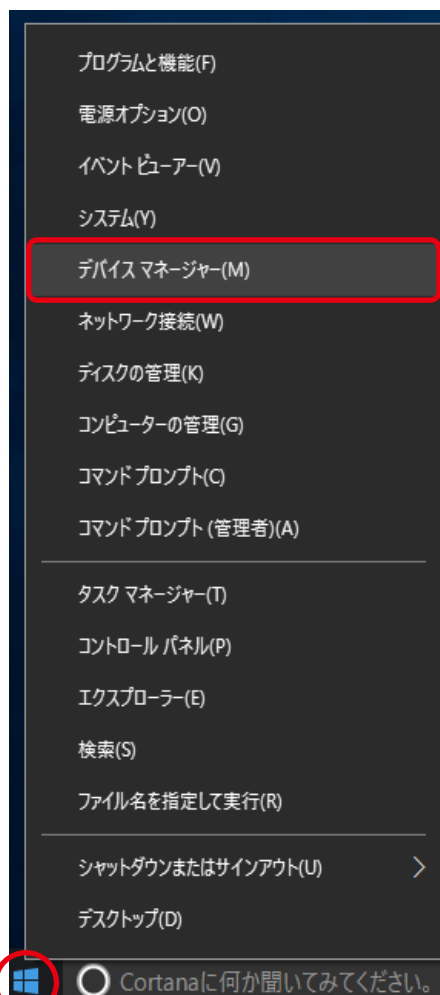
[デスクトップ] にショートカット  が作成されています。
続いて、USB ドライバーをインストールします。

7 サウンドリピーターの電源が切れていることを確認する。

8 付属の USB ケーブルを使って、サウンドリピーターの USB 端子と、パソコンまたは USB ハブの USB 端子を接続する。

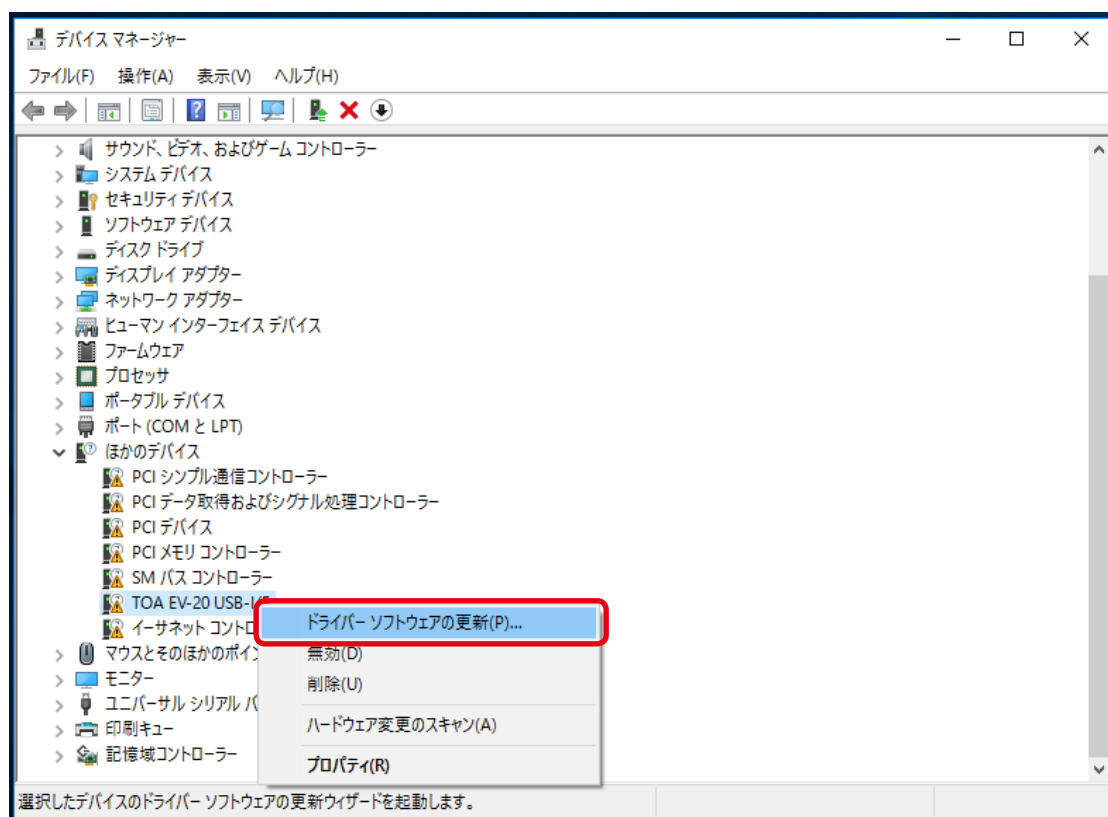
9 サウンドリピーターに電源を供給する。

- 10** スタートボタンを右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックする。
デバイスマネージャーが表示されます。

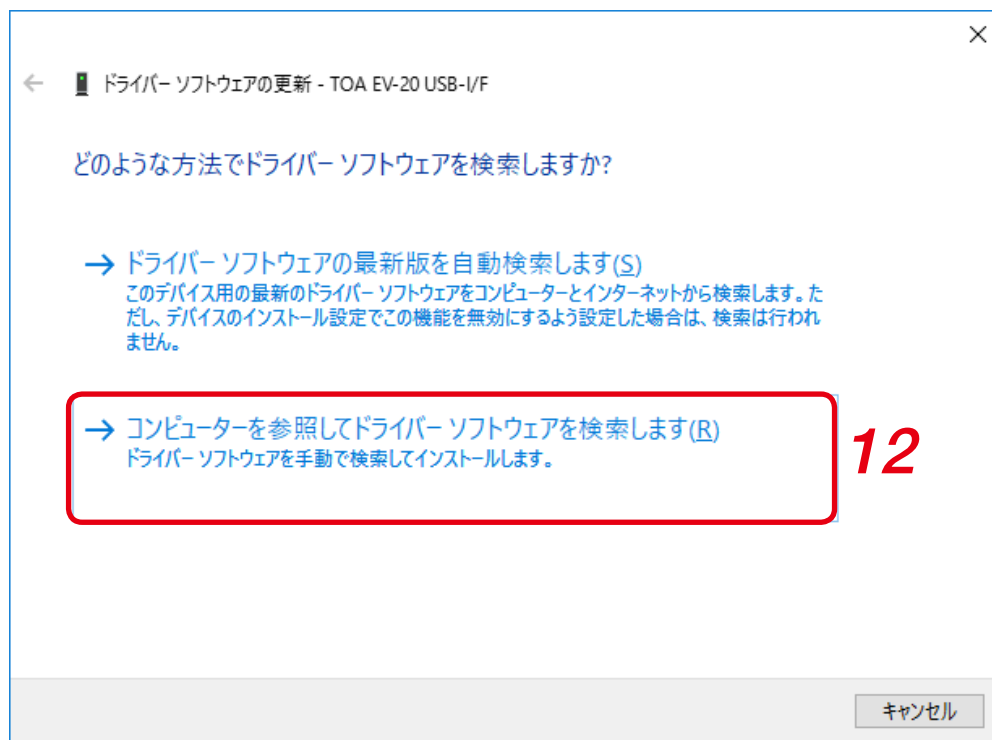


スタートボタン —  Cortanaに何か聞いてみてください。

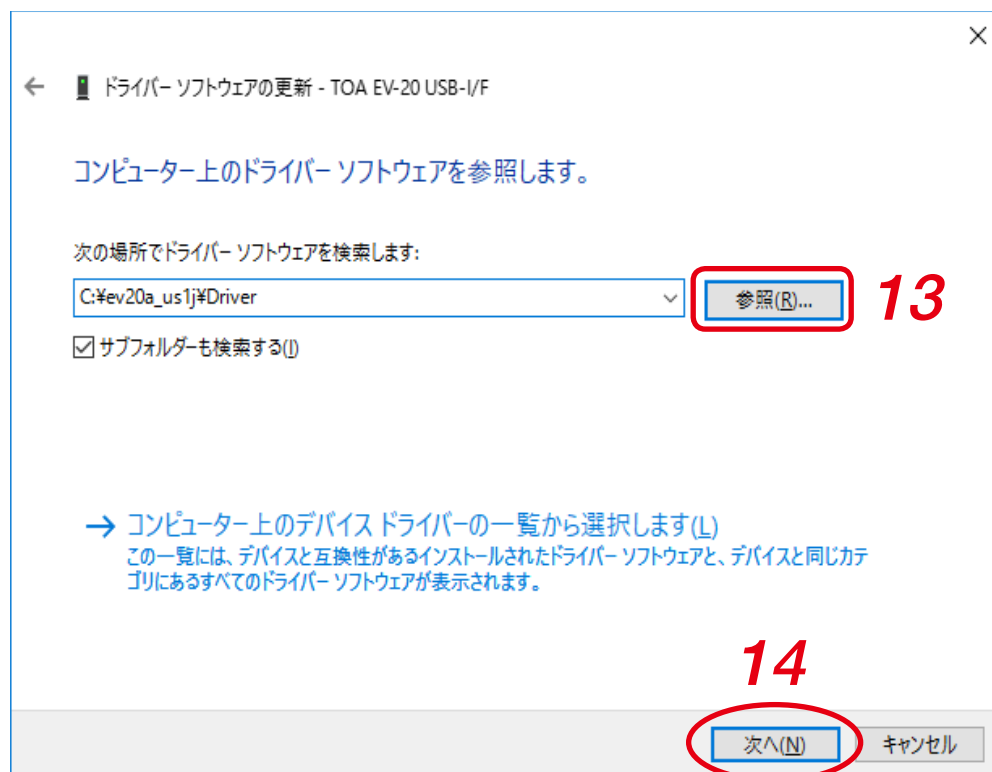
- 11** 「TOA EV-20 USB-I/F」を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックする。



下のような画面が表示されます。



- 12** 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックする。
下のような画面が表示されます。

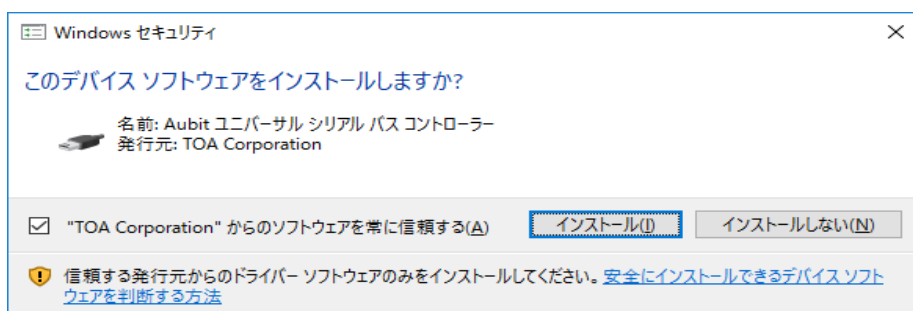


- 13** 参照ボタンをクリックして、CD-ROM 内の Driver フォルダーを選択する。

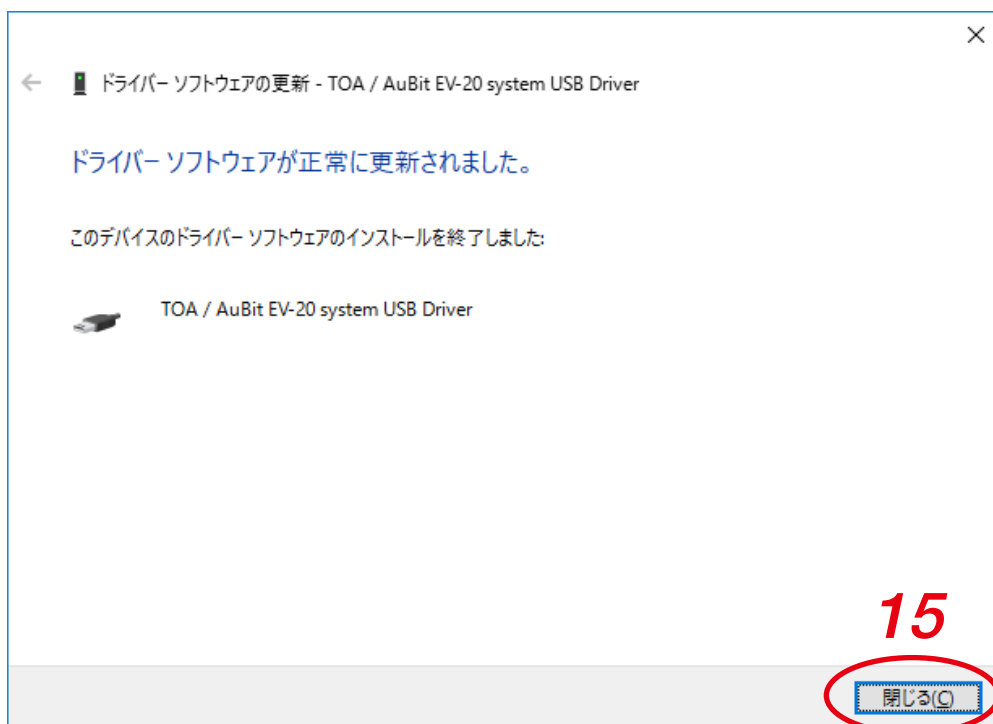
- 14** [次へ] ボタンをクリックする。
ドライバーソフトウェアの更新が開始します。

メ モ

インストールの途中で、下のような Windows セキュリティダイアログが表示される場合があります。
表示された場合は、[インストール] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



ドライバーソフトウェアの更新が完了すると、下のような画面が表示されます。



15 [閉じる] ボタンをクリックする。

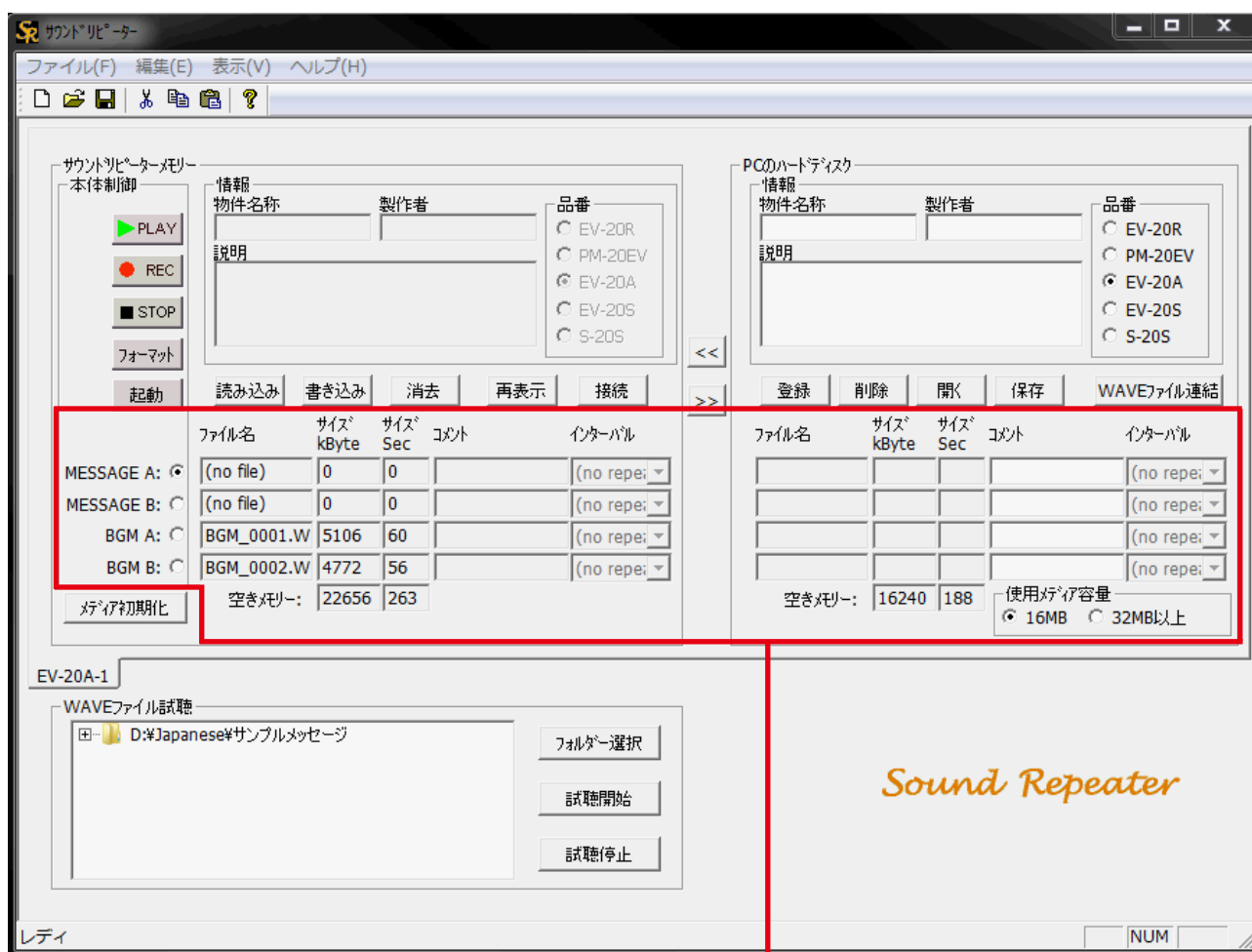
ソフトウェアを起動する

※ パソコンに USB ドライバーとデータ転送ソフトウェアをインストールし、サウンドリピーター本体と接続しておいてください。ソフトウェアのインストールのしかたおよび接続は、別冊の取扱説明書をお読みください。

インストール時にデスクトップに作成されるショートカット  をダブルクリックすると、データ転送ソフトウェアが起動します。

メ モ

インストールフォルダーにある「EV20man.exe」をダブルクリックしても、データ転送ソフトウェアが起動します。（インストール時にインストールフォルダーを変更していない場合、データ転送ソフトウェアは「C:¥Program Files¥EV-20PC¥」フォルダー内に入っています。）



音源エリア*

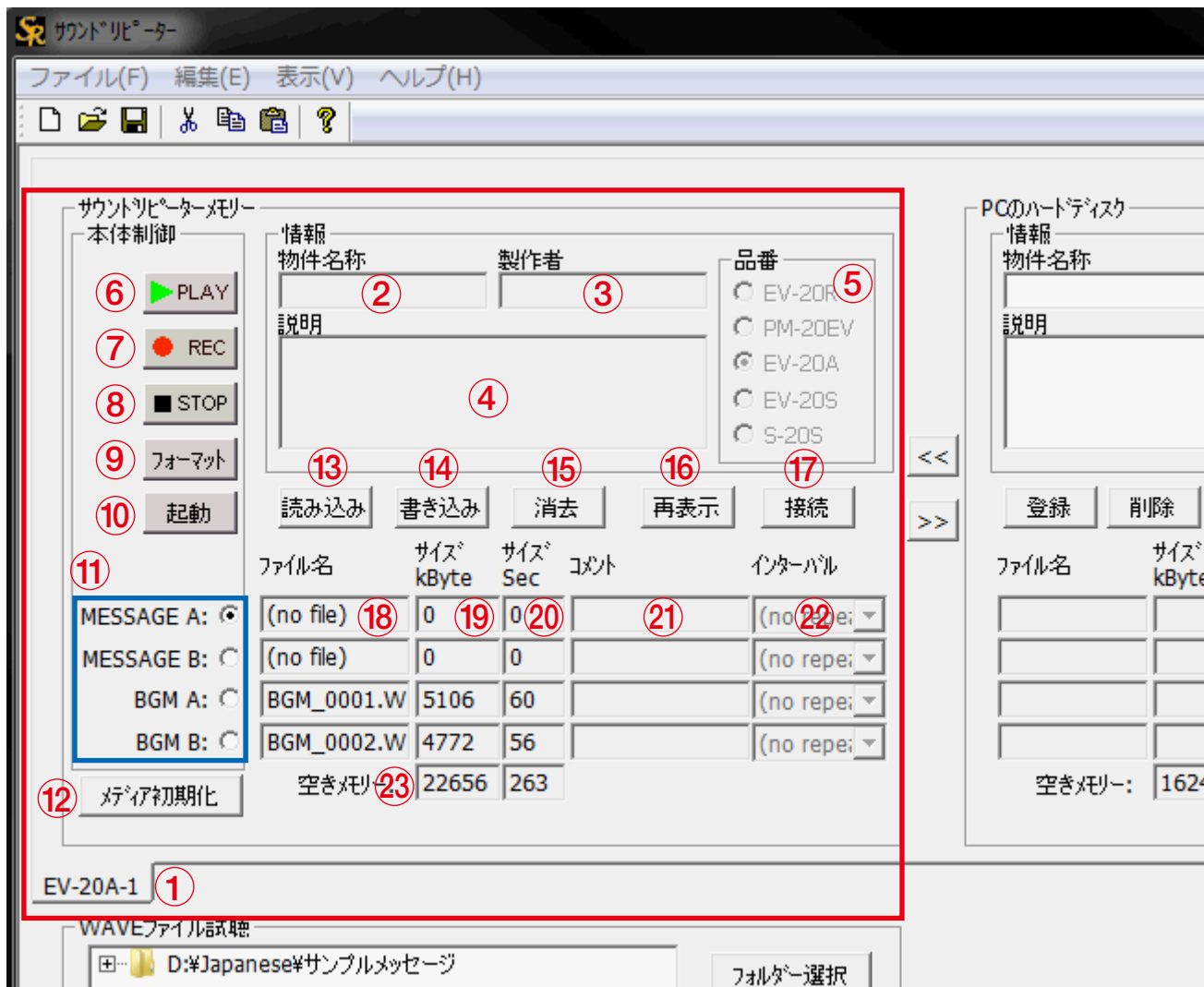
上の画面は 1 台の EV-20A と接続したときの画面です。本体制御のボタンや音源エリア*の表示などは、接続している機種により異なります。

* 音源データを書き込む部分です。サウンドリピーターの機種に応じて、3 つまたは 4 つの音源データを書き込めます。

画面の説明

サウンドリピーターメモリーエリア

サウンドリピーターの録音内容を表示したり、音源データをパソコンに読み込んだり、1つずつ消去したりすることができます。また、サウンドリピーターの再生、録音などの制御もできます。



1. 品番表示タブ

パソコンに接続しているサウンドリピーターの品番を表示します。EV-20A の場合、品番の後に機器ごとの ID 番号が表示されます。複数のサウンドリピーターを接続しているときは、このタブで機器を選択します。

ご注意

EV-20A は 16 台まで接続できます。
その他の機種は 1 台だけしか接続できません。

● 情報

物件の情報を表示します。

2. 物件名称

物件名称を表示します。

3. 製作者

製作者を表示します。

4. 説明

物件に関する説明を表示します。

5. 品番

サウンドリピーターの品番を表示します。サウンドリピーターをパソコンに接続すると、自動的に判別して表示します。

● 本体制御

接続されたサウンドリピーターをパソコンから操作することができます。機種により、表示されるボタンは異なります。

6. 再生 [▶ PLAY]

選択された音源データを再生します。

7. 録音 [● REC] (EV- 20S を除く)

選択された音源エリア (P. 14) に録音します。

8. 停止 [■ STOP]

再生中または録音中にその動作を停止します。

9. フォーマット

サウンドリピーター内部のメモリーまたは装着されているスマートメディアを初期化（一括消去）します。スマートメディアの場合、サウンドリピーター用にフォーマットされます。市販のスマートメディアをサウンドリピーターで使用するときは、最初にこのフォーマットを行います。

10. 起動 (EV-20A のみ)

このソフトウェアで設定やファイル送受信を行った後、EV-20A を動作させるときに、このボタンを押します。

※ EV-20A 本体の録音／再生選択スイッチを右側（再生時の設定）にしておく必要があります。

11. 音源選択部

- EV-20R、EV-20S の場合：
No.1 ～ 4
- PM-20EV の場合：
アナウンス、前置チャイム、
後置チャイム
- EV-20A の場合：
MESSAGE A、MESSAGE B、BGM A、
BGM B

音源エリアには 3 つまたは 4 つの音源データを書き込めます。音源選択部のボタンをクリックして、操作する音源エリアを選択します。パソコンにサウンドリピーターを接続していないときは No.1 ～ 4 の番号が表示されますが、接続すると機種により表示される音源データ選択部の数および名称が変わります。前ページの画面は EV-20A の場合の例です。

12. メディア初期化 (EV-20A のみ)

EV-20A に付属のスマートメディアおよびフォーマットボタン (9) でフォーマットしたスマートメディアは、サウンドリピーター以外の機器では使用できません。このボタンを押すと、EV-20A に装着されているスマートメディアがパソコンやデジタルカメラなどで使用できるように初期化できます。

● メモリーボタン

音源エリアにデータを 1 つずつ書き込んだり、消去したりすることができます。

13. 読み込み

サウンドリピーターに録音されている、選択された音源データをパソコンに保存します。

14. 書き込み

パソコンに保存されている音源データを、サウンドリピーターの選択された音源エリアに書き込みます。

15. 消去

サウンドリピーターに録音されている、選択された音源データを消去します。

16. 再表示

サウンドリピーターに録音されているすべての音源データのファイル名、情報などを呼び出して画面（サウンドリピーターメモリーエリア）に表示します。

17. 接続

このソフトウェアを起動した後、パソコンとサウンドリピーターの接続を変更したときなどに、このボタンを押して、再度、接続を確立します。

● 音源データ情報

サウンドリピーターの音源データについての情報を表示します。

18. ファイル名

音源データのファイル名を表示します。

19. ファイルサイズ (容量)

音源データのファイルサイズを kByte 単位で表示します。

20. ファイルサイズ (時間)

音源データのファイルサイズを時間（秒）で表示します。

21. コメント

音源についてのコメントを表示します。

22. インターバル

音源再生の繰り返し間隔を表示します。

23. 空きメモリー

サウンドリピーター内部のメモリーまたは装着されているスマートメディアのメモリーの残量を表示します。

※ 表示されている残量は目安です。使用状態によっては、実際の残量はそれより少ない場合があります。

■ PC のハードディスクエリア

サウンドリピーターに転送する音源データをあらかじめ登録したり、編集したりするための画面です。転送、バックアップは、機器単位（物件ごとの全音源データおよび情報を一括）で行います。

The screenshot shows a software window titled "PCのハードディスク" (PC Hard Disk). It is divided into several sections:

- Left Panel:** Contains fields for "製作者" (Creator) and "品番" (Model Number) with radio button options: EV-20R, PM-20EV, EV-20A (selected), EV-20S, and S-20S. Below these are buttons for "消去" (Delete), "再表示" (Redisplay), and "接続" (Connect). At the bottom is a table with columns "サイズ Sec", "コメント", and "インターバル".
- Right Panel (Main):**
 - 情報 (Information):** Fields for "物件名称" (Property Name) (24), "製作者" (Creator) (25), and "品番" (Model Number) (27). A "説明" (Description) text area (26) is below.
 - Buttons:** "登録" (Register) (28), "削除" (Delete) (29), "開く" (Open) (30), "保存" (Save) (31), and "WAVEファイル連結" (WAVE File Link) (32).
 - Table:** Similar to the left panel, with columns "ファイル名" (File Name) (33), "サイズ kByte" (Size kByte) (34), "サイズ Sec" (Size Sec) (35), "コメント" (Comment) (37), and "インターバル" (Interval) (38). The first row shows "空きメモリ" (Free Memory) (36) with values 16240 and 188.
 - Bottom Right:** "使用メモリー容量" (Used Memory Capacity) (39) with radio buttons for "16MB" (selected) and "32MB以上" (32MB or more).

Callout numbers 40 and 41 point to navigation arrows on the left, and 42 points to the window title bar.

デフォルトの保存先についてのご注意

パソコンのハードディスクに音源データや情報を保存するとき、デフォルトの保存先はご使用のデータ転送ソフトウェア(このソフトウェア)のバージョンにより異なります。特に、このソフトウェアのバージョンアップを行った場合は、既存データの保存先と新規データの保存先が異なりますのでご注意ください。必要に応じてパソコン上のデータを移動してください。

デフォルトの保存先

- このソフトウェアのバージョン 4.0 以降
C:\¥ProgramData¥EV-20PC¥PROJECT¥
- このソフトウェアのバージョン 3.1 以前
C:\¥Program Files¥EV-20PC¥PROJECT¥

※ バージョンの確認方法については、表紙をご覧ください。

● 情報

物件の情報を入力して保存することができます。

24. 物件名称

物件名称の入力および表示を行います。全角で最大 64 文字（半角で最大 128 文字）入力できます。

【ご注意】

物件名称はフォルダー名になりますので、フォルダー名に使用できない文字は入力しないでください。

25. 製作者

製作者の入力および表示を行います。全角で最大 64 文字（半角で最大 128 文字）入力できます。入力できる文字の種類に制限はありません。

26. 説明

物件に関する説明の入力および表示を行います。全角で最大 128 文字（半角で最大 256 文字）入力できます。入力できる文字の種類に制限はありません。

27. 品番

サウンドリピーターの品番の表示および選択を行います。

● メモリーボタン

サウンドリピーターで使用する音源データや情報などを編集することができます。

28. 登録

サウンドリピーターに書き込みたい音源データを登録します。

29. 削除

登録されている音源データを削除します。

30. 開く

パソコンに保存されている機器単位（物件ごと）の音源データおよび情報を読み込んで表示します。

31. 保存

編集中の音源エリアのデータや情報などを機器単位（物件ごと）のファイルとしてパソコンに保存します。

32. WAVE ファイル連結

パソコンやCD-ROMなどに保存されている2つの音源データを連結して、新しい音源データを作ります。

● 登録状況

サウンドリピーターで使用する音源データの編集をすることができます。ファイルごとにコメントをつけることもできます。

33. ファイル名

音源データのファイル名を表示します。

34. ファイルサイズ（容量）

音源データのファイルサイズを kByte 単位で表示します。

35. ファイルサイズ（時間）

音源データのファイルサイズを時間（秒）で表示します。

36. 空きメモリー

サウンドリピーター内部のメモリーまたはスマートメディアのメモリーの残量を表示します。
※ 表示されている残量は目安です。使用状態によっては、実際の残量はそれより少ない場合があります。

37. コメント

音源についてのコメントを表示および入力します。全角で最大 64 文字（半角で最大 128 文字）入力できます。入力できる文字の種類に制限はありません。

38. インターバル

再生の繰り返し間隔を設定します。右端にある▼ボタンをクリックして、設定したい繰り返し間隔の所にカーソルを合わせます。
ただし、サウンドリピーター本体で設定できる機種の場合は、この画面上では設定できません。本体の設定スイッチで設定してください。

39. 使用メディア容量（EV-20A のみ）

機器本体に装着するスマートメディアの容量を選択します。

● その他

40. 一括書き込み [<<]（エリア画面左の中央）

PC のハードディスクエリアで登録した内容をサウンドリピーターに転送して書き込みます。書き込まれた内容は、サウンドリピーターメモリーエリアに表示されます。

41. バックアップ [>>]（エリア画面左の中央）

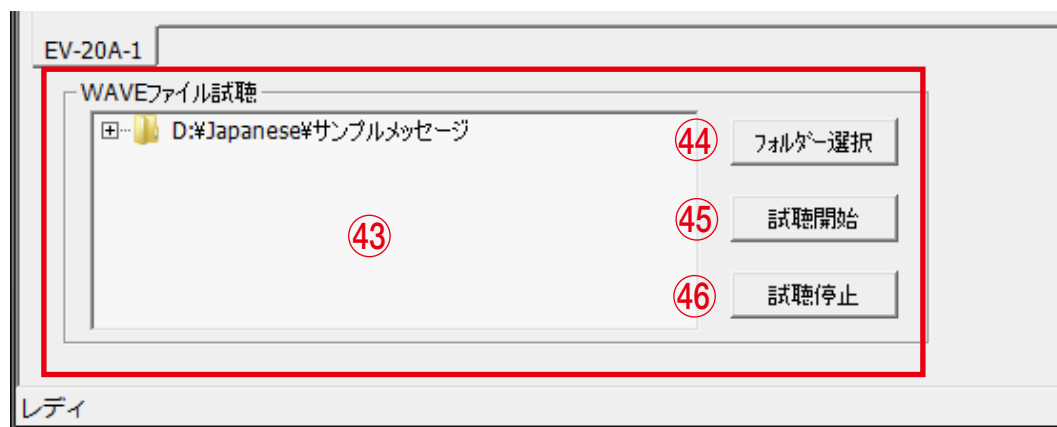
サウンドリピーターの内容を PC のハードディスクエリアに転送して表示します。

42. 終了（エリア画面右上）

このソフトウェアを終了します。
ツールバーの [ファイル→アプリケーションの終了] でも終了できます。

■ WAVE ファイル試聴エリア

パソコンに挿入した CD-ROM 内またはパソコンのハードディスク上にある WAVE ファイルを試聴するための画面です。



43. WAVE ファイル表示部

付属の CD-ROM をパソコンに挿入しているときは、CD-ROM 内のサンプルメッセージのフォルダーを表示しています。

フォルダー左の「+」マークをクリック、またはフォルダー名をダブルクリックしてフォルダーを展開します。

WAVE ファイルのファイル名を表示させ、サウンドリピーターメモリーエリアまたは PC のハードディスクエリアのファイル名 (18) (33) 欄へドラッグ&ドロップすると、書き込みまたは登録ができます。

44. フォルダ選択

付属の CD-ROM をパソコンに挿入していないときは、このボタンで WAVE ファイルが保存されているファイルを選択します。

このボタンを押すと、「[フォルダーの参照] ダイアログが表示されます。WAVE ファイルが保存されているフォルダーをクリックし、OK ボタンを押します。

選択したフォルダーは WAVE ファイル表示部 (43) に表示されます。

45. 試聴開始

WAVE ファイル表示部 (43) で選択した WAVE ファイルをパソコンで試聴できます。

46. 試聴停止

パソコンでの試聴を停止します。

使用できる音源データ

同じ CD-ROM 内にあるサンプルメッセージやお客様があらかじめ作成された音源データを読み込み、サウンドリピーターに書き込むことができます。

■ サンプルメッセージ

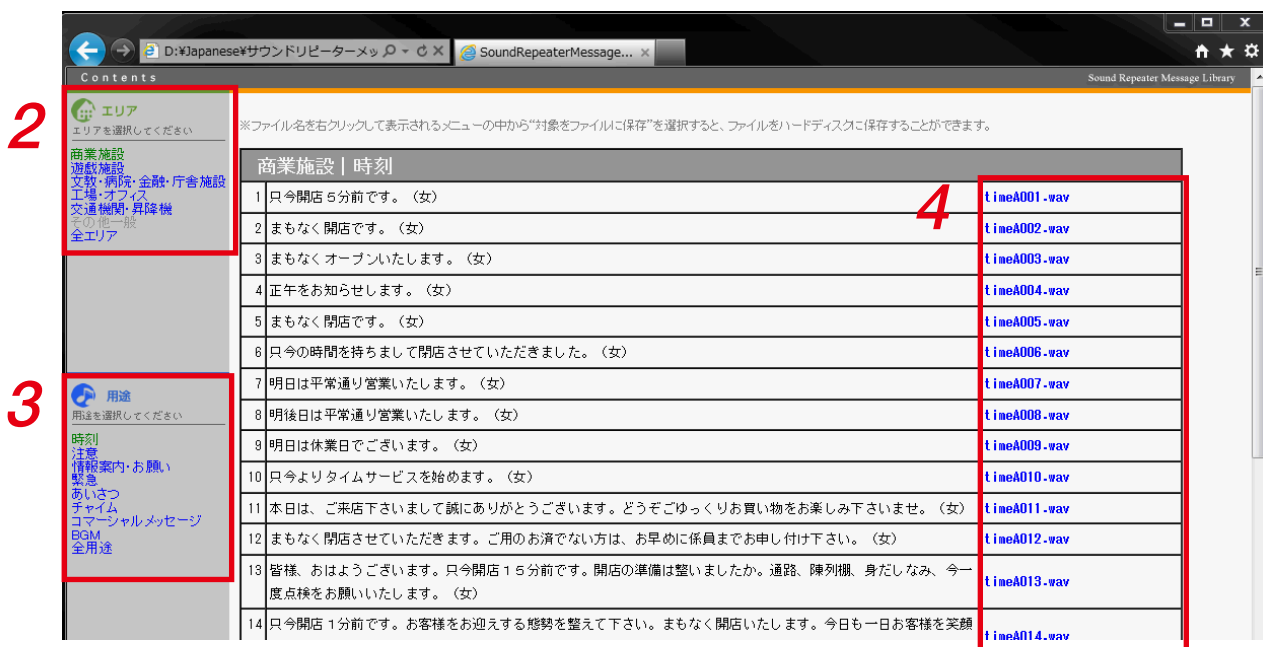
放送場所、用途別に約 400 種類のサンプルメッセージを用意しています。

同じ CD-ROM 内の「¥Japanese¥ サウンドリピーターメッセージ ¥」フォルダーに収録していますので、必要に応じてサウンドリピーターに書き込んでご利用ください。

サンプルメッセージの内容とファイルサイズ（時間）は、同じ CD-ROM 内の「サンプルメッセージ一覧 .pdf」ファイルに記載しています。

パソコン上でサンプルメッセージを試聴することもできます。

[サンプルメッセージの内容を確認する]



1 CD-ROM 内の「サウンドリピーターメッセージライブラリー .htm」ファイルをダブルクリックして開く。
画面左上に「エリア」が表示されます。

2 サンプルメッセージを使用するエリア（放送場所）をクリックして選択する。
画面左下に「用途」が表示されます。

3 サンプルメッセージの用途をクリックして選択する。
画面右側にサンプルメッセージ内容の文章とファイル名が表示されます。

4 サンプルメッセージを試聴したいときは、文章のファイル名をクリックする。

パソコンで音声を聞くことができます。

メ モ

- サンプルメッセージの WAVE ファイルをダブルクリックするか、データ転送ソフトウェアの WAVE ファイル試聴エリア（ P. 19）を操作しても試聴できますが、内容をあらかじめ文章で確認することはできません。
- 使用するサンプルメッセージのエリア（放送場所）、用途、ファイル名を記録しておき、データ転送ソフトウェアでの取り込み時にご利用ください。

ご注意

この CD-ROM 内のサンプルメッセージは、EV-20R、PM-20EV、EV-20A、EV-20S でのみ利用できます。その他の製品には使用しないでください。指定以外の製品に使用したい場合は、当社営業所までお問い合わせください。

■ 音源データを作成する場合

お客様が作成された WAVE ファイルも放送に使用することができます。

サウンドリピーターに書き込んで使用できる WAVE ファイルの仕様は次のとおりです。

サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化数：16 ビット
モード：モノラル
データ形式：PCM
ファイル名：8.3 形式（半角英数字またはアンダーバー 8 文字以下、拡張子は WAV）
フォーマット：WAVE フォーマット

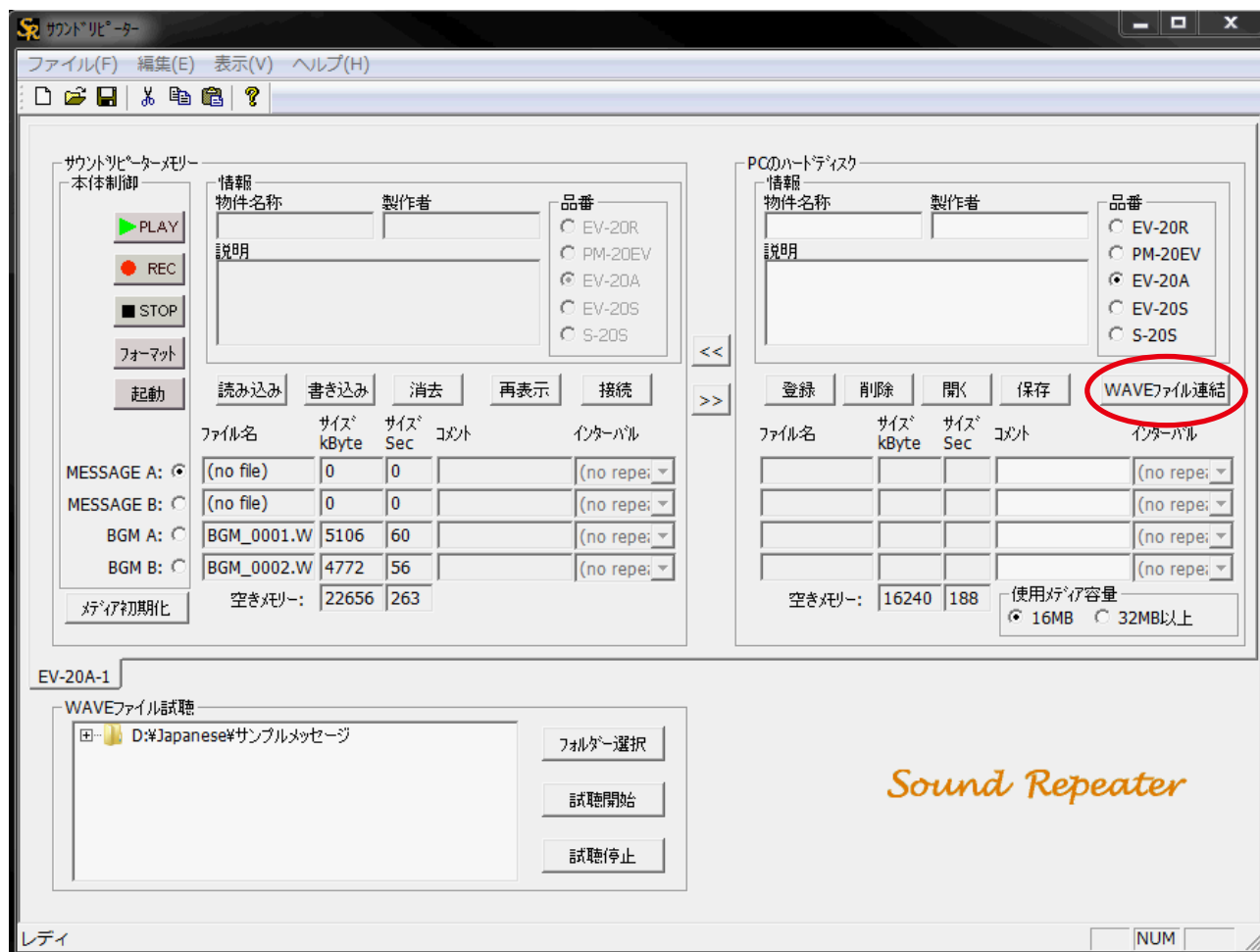
ご注意

- このソフトウェアは、WAVE フォーマットの上位フォーマットである「ブロードキャスト・ウェーブフォーマット」などで規定されるファイルヘッダー内の冗長部分を自動認識して削除する機能を持っていますが、一部対応できない冗長情報が存在する可能性があります。お使いの WAVE ファイル編集ソフトウェアの冗長情報の追加スイッチなどをオフに設定してお使いください。
- WAVE ファイル名に漢字、ひらがな、カタカナは使用できません。
必ず 8 文字以下の半角英数字またはアンダーバーで、拡張子は WAV にしてください。

■ WAVE ファイルを連結して新しいファイルを作成する

データ転送ソフトウェアを使用して、サンプルメッセージやお客様が作成された WAVE ファイルを連結して新しい WAVE ファイルを作成することができます。

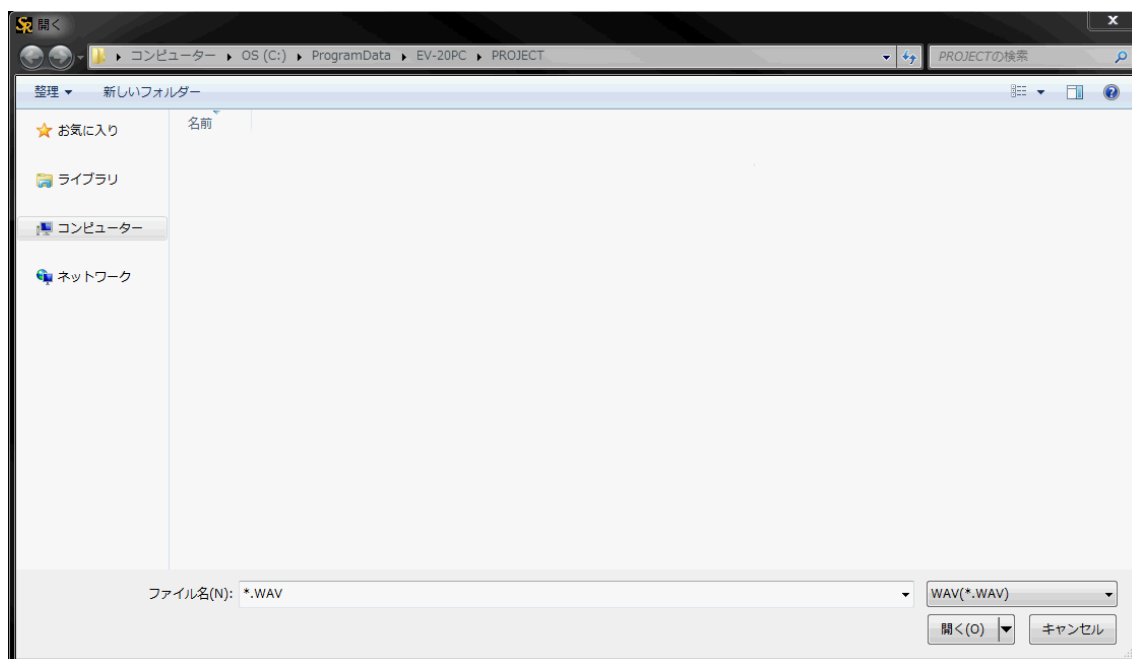
1 WAVE ファイル連結ボタンをクリックする。



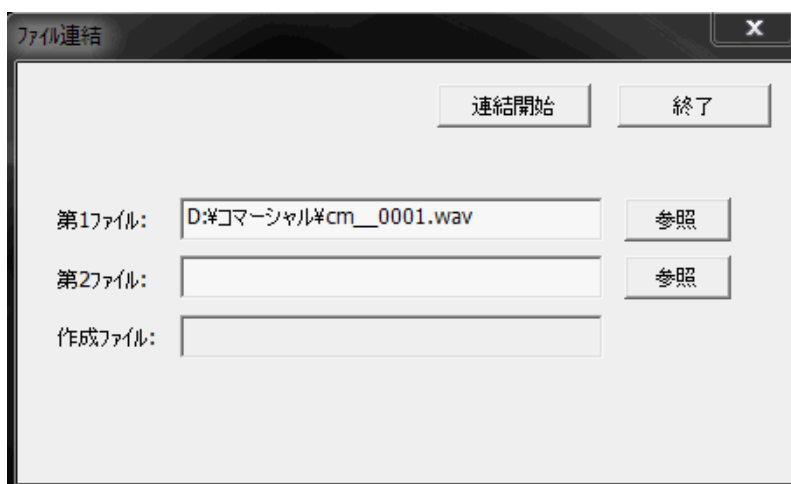
ダイアログが表示されます。



- 2** 「第1ファイル」の横にある参照ボタンをクリックする。
ダイアログが表示されます。



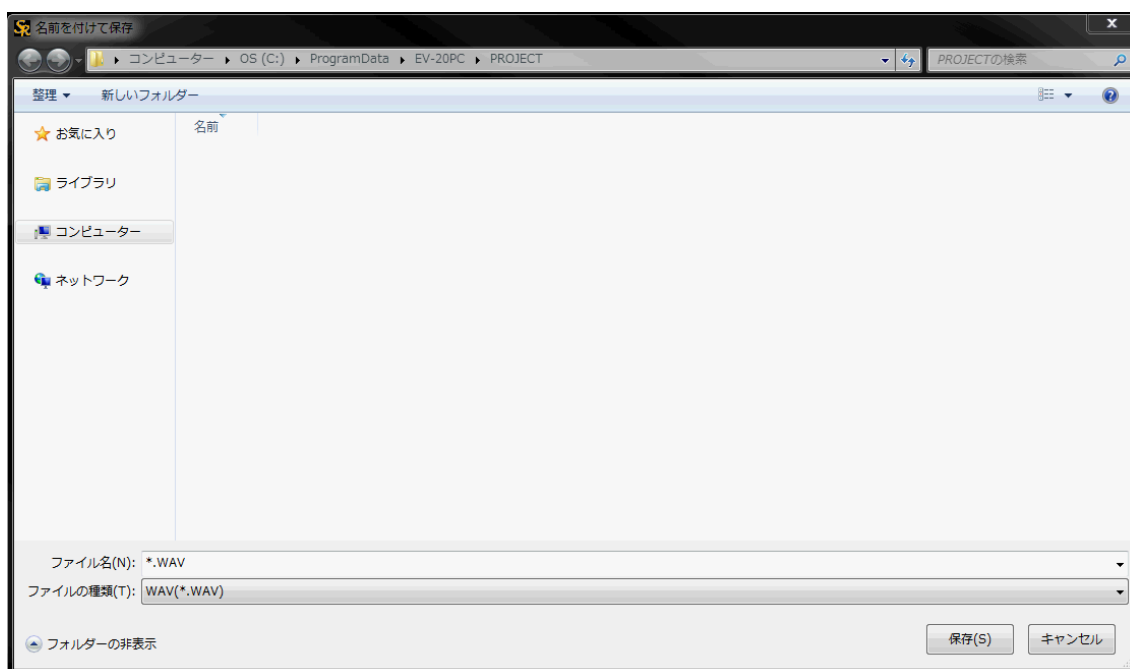
- 3** 連結するファイルを選択し、開くボタンをクリックする。
選択したファイル名が第1ファイルの欄に表示されます。



- 4** 第1ファイルと同様に第2ファイルを選択する。



- 5** 連結開始ボタンをクリックする。
ダイアログが表示されます。



- 6** 保存先を指定し、連結後のファイル名を入力して、保存する。

ご注意

ファイル名は、半角英数字またはアンダーバー 8 文字以下で、拡張子を WAV にしてください。



- 7** 終了ボタンをクリックする。

メモ

以上の手順を繰り返すと、いくつでもファイルを連結することができます。ただし、サウンドリピーターで録音できる時間以内に収めてください。

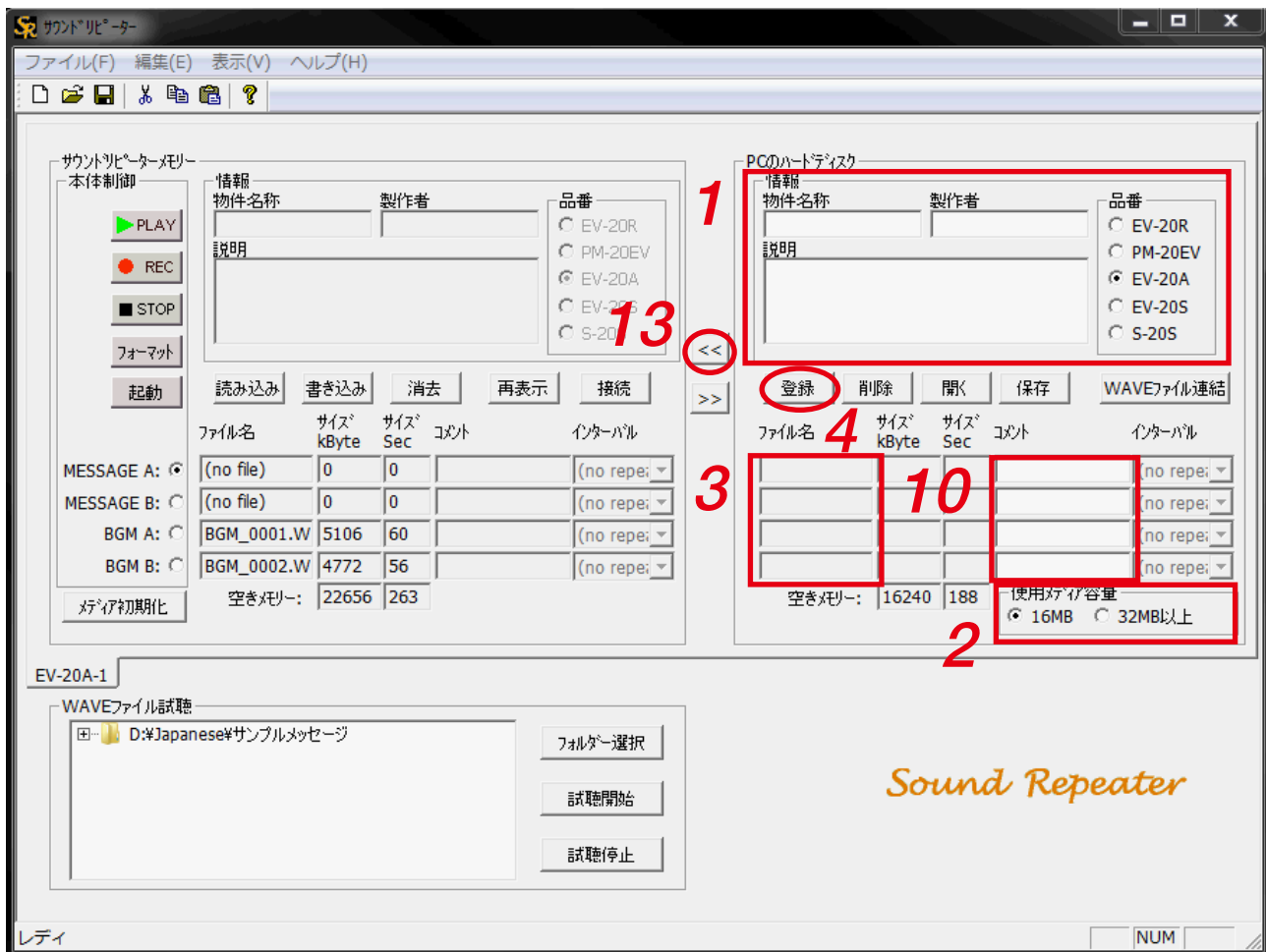
音源データをサウンドリピーターに転送する

■ 機器単位で作成してサウンドリピーターに書き込む

機器単位（物件ごと）の情報や音源エリアに入れる音源データなどを PC のハードディスクエリアで作成し、サウンドリピーターメモリーエリアに転送して書き込みます。

ご注意

この方法ではすべての情報を一括で書き込みます。サウンドリピーター側に消去したくない情報があるときは必ずバックアップしてから行ってください。



1 PC のハードディスクエリアで、品番*を選択し、物件名称を入力する。必要に応じて製作者、説明の欄にも入力する。

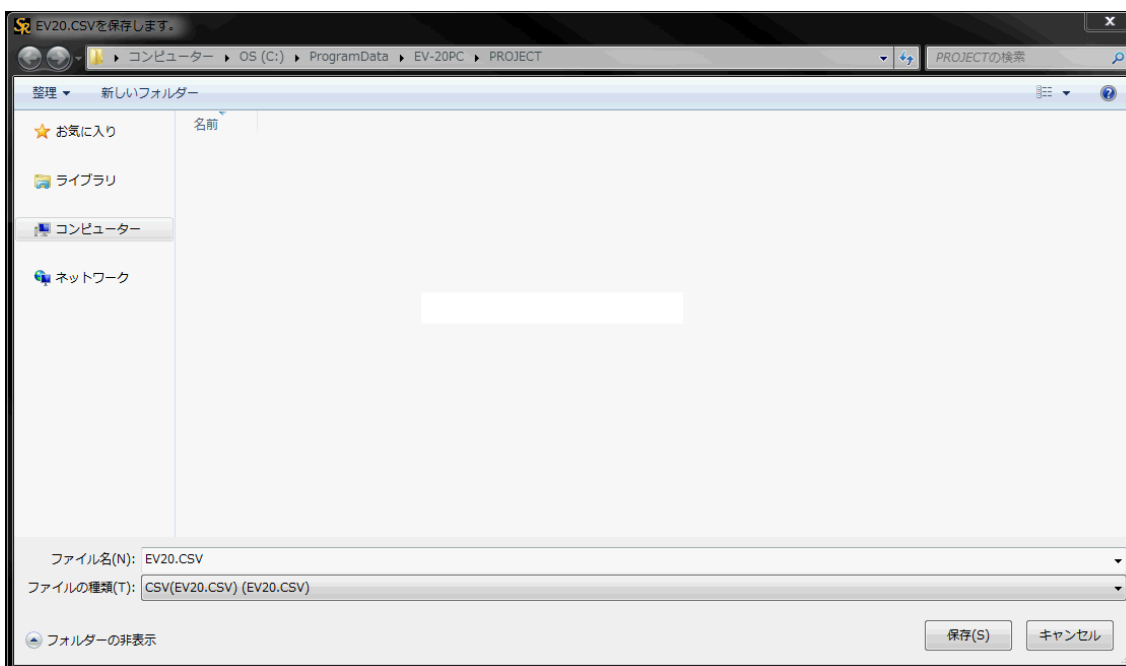
* S-20S は海外向けに発売されている機種です。

2 (EV-20A のみ) 使用するスマートメディアの容量を選択する。

3 PC のハードディスクエリアで、書き込みたい音源エリアのファイル名表示欄をクリックする。

4 登録ボタンをクリックする。

保存先を指定するためのダイアログが表示されます。

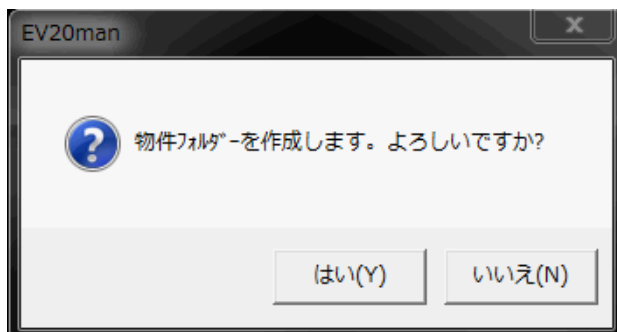


メ モ

2回目以降の登録ボタン操作のときには、保存する場所のダイアログではなく、手順7で表示される、ファイルを開くためのダイアログが表示され、手順4～6は省略されます。

5 物件に関する情報を保存するファイル（EV20.CSV）の格納先を指定し、保存ボタンをクリックする。

確認のダイアログが表示されます。



ご注意

- 物件名称が未入力の場合は、保存できません。物件名称を入力してください。
- ファイル名（EV20.CSV）は変更しないでください。変更しても自動的に EV20.CSV に変えて保存されます。

6 「はい」をクリックする。

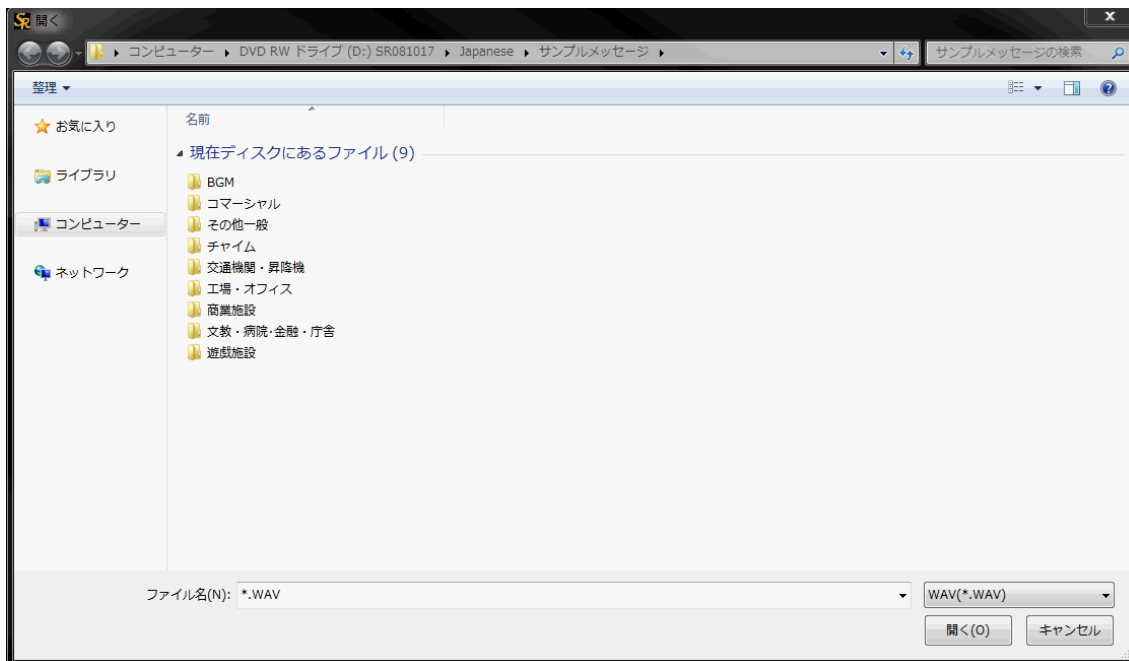
物件名称と同じ名称のフォルダーが作成され、その中に EV20.CSV が保存されます。保存が完了すると、ダイアログが表示されます。



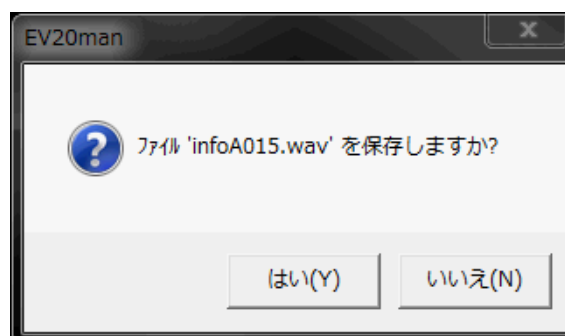
ご注意

作成されたフォルダー内のファイルを削除しないでください。

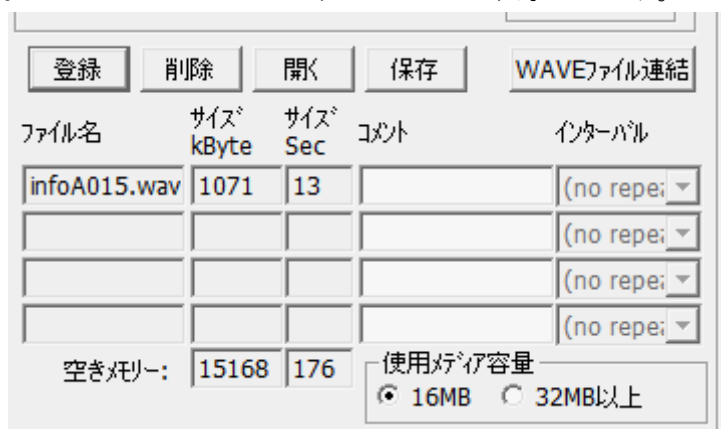
- 7 OK ボタンをクリックする。
ダイアログが表示されます。



- 8 登録したい音源データのあるフォルダー名およびファイル名を指定し、開く ボタンをクリックする。
確認のダイアログが表示されます。



- 9 「はい」をクリックする。
登録された音源データが PC のハードディスクエリアに表示されます。



ご注意

同じファイル名の音源データを複数登録することはできません。ファイル名を変更してから登録してください。

メモ

すでに登録してある音源エリアに登録すると、新しい音源データに置き換わります。

10 必要に応じてコメントの欄に入力する。

11 必要に応じて、インターバルの右側にある▼をクリックして繰り返し間隔を選択する。(本体でインターバルの設定ができない機種のみ)

メ モ

- インターバルとは、繰り返し放送する場合の繰り返し間隔です。繰り返し間隔は、前の音源データの再生が終了してから次の音源データの再生が開始されるまでの時間です。繰り返し間隔には、設定された遅延時間*は加算されません。
* 設定できる機種と設定できない機種があります。
- 工場出荷時は繰り返し間隔なし (no repeat) に設定されています。

インターバルの設定	設定内容
(no repeat) 工場出荷時	繰り返し放送をしません。
0 sec	間隔なしで連続して放送します。
5 sec	5 秒間隔で繰り返し放送します。
10 sec	10 秒間隔で繰り返し放送します。
30 sec	30 秒間隔で繰り返し放送します。
1 min	1 分間隔で繰り返し放送します。
5 min	5 分間隔で繰り返し放送します。
10 min	10 分間隔で繰り返し放送します。
30 min	30 分間隔で繰り返し放送します。
1 hour	1 時間間隔で繰り返し放送します。

- PM-20EV の場合、本体には停止キーがありません。繰り返し放送を途中で停止させるときは、本体の再生キーを押すか、パソコンのサウンドリピーターメモリーエリアにある停止ボタンを押します。

12 手順 3 ～ 11 を繰り返し、書き込みたい音源エリアのすべてに音源データを登録する。

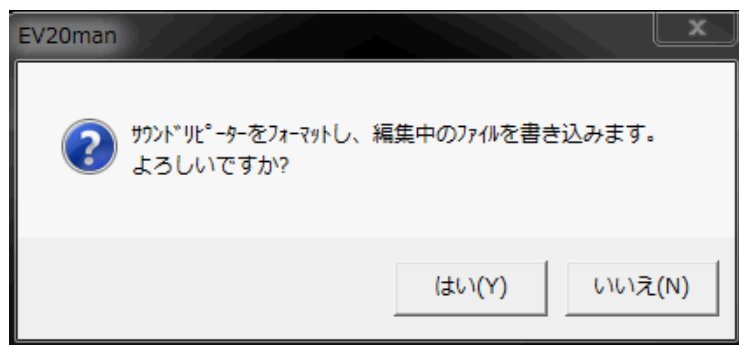
メ モ

- ファイル名表示欄に WAVE ファイルをドラッグ&ドロップすることによっても、音源データを登録することができます。
- 登録した音源データを削除したい場合は、削除したい音源データのファイル名表示欄をクリックしてから、削除ボタンをクリックします。ダイアログが表示されますので、ファイル名に間違いがないことを確認したら「はい」をクリックしてください。
- 2 回目以降の登録のときには、フォルダー格納先指定の手順はありません。自動的に最初に指定した場所の物件名称のフォルダー内に書き込まれます。

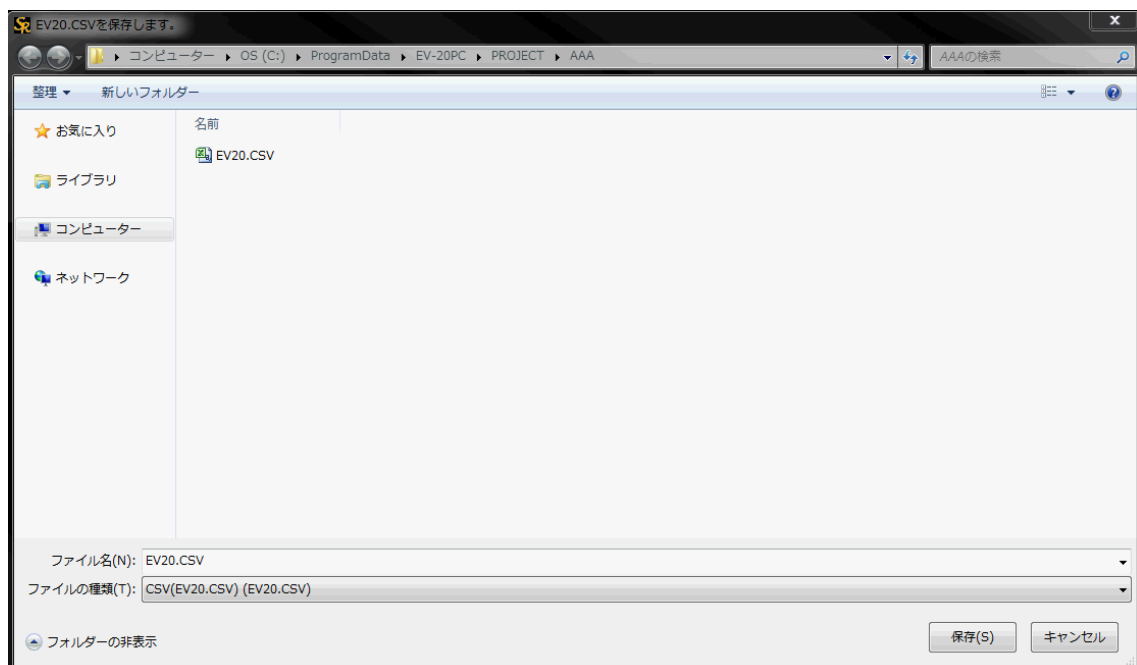
ご注意

EV-20S には 4 種類の音源データを登録できますが、TA-2000 シリーズ、VA シリーズ、TE シリーズのアンプに組み込んで使用する場合は、3 種類 (No.1 ～ 3) の音源データしか再生できません。

- 13** 画面中央の一括書き込みボタン [＜＜] をクリックする。
確認のダイアログが表示されます。



- 14** 「はい」をクリックする。
保存先を指定するためのダイアログが表示されます。



- 15** 保存先を指定し、保存ボタンをクリックする。
保存先に変更がなければ、手順 6 で作成されたフォルダー内に、登録した情報が保存されます。
保存が完了すると、ダイアログが表示されます。



16 OK ボタンをクリックする。

サウンドリピーターがフォーマットされた後、PC のハードディスクエリアの情報がサウンドリピーターメモリーエリアにコピーされ、サウンドリピーターに書き込まれます。

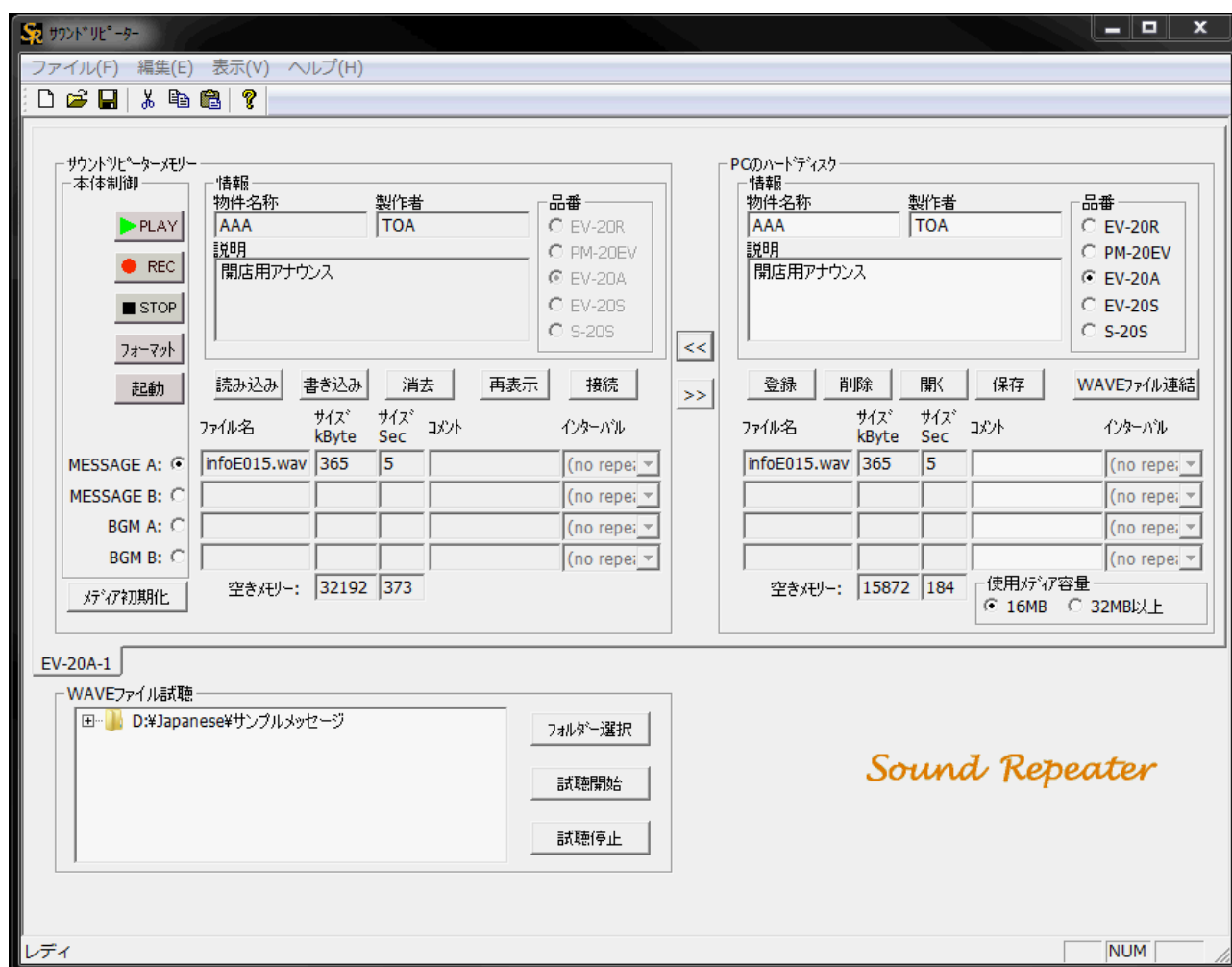
メ モ

一括書き込みに必要な時間は、転送するファイルの大きさにより異なります。(転送時間：最大 3 分)

一括書き込みが完了すると、ダイアログが表示されます。



17 OK ボタンをクリックする。

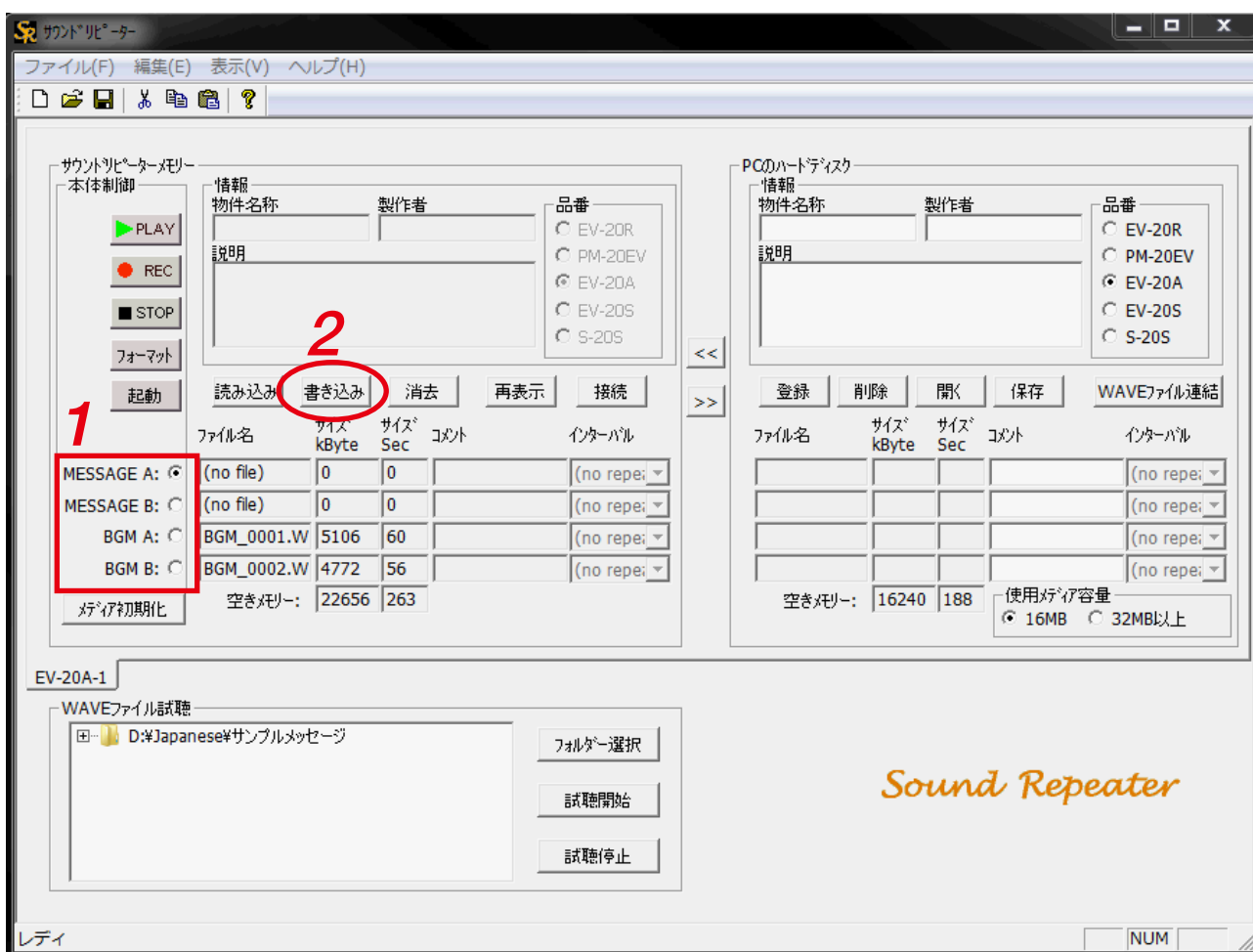


■ 音源データ単位でサウンドリピーターに書き込む

サウンドリピーターにいくつかの音源データだけを書き込みたい、または消去したい場合、パソコンにバックアップをとる必要がなければ、サウンドリピーターメモリーエリアだけで行えます。ただし、コメント欄への入力、サウンドリピーターメモリーエリアではできません。

※ パソコンにサウンドリピーターを接続して、データ転送ソフトウェアを起動すると、サウンドリピーター内部の情報が自動的に読み込まれ、サウンドリピーターメモリーエリアに表示されます。表示されていない場合は、再表示ボタンをクリックするとサウンドリピーター内部の情報が読み込まれ、表示されます。

● 音源データを1つずつ書き込む

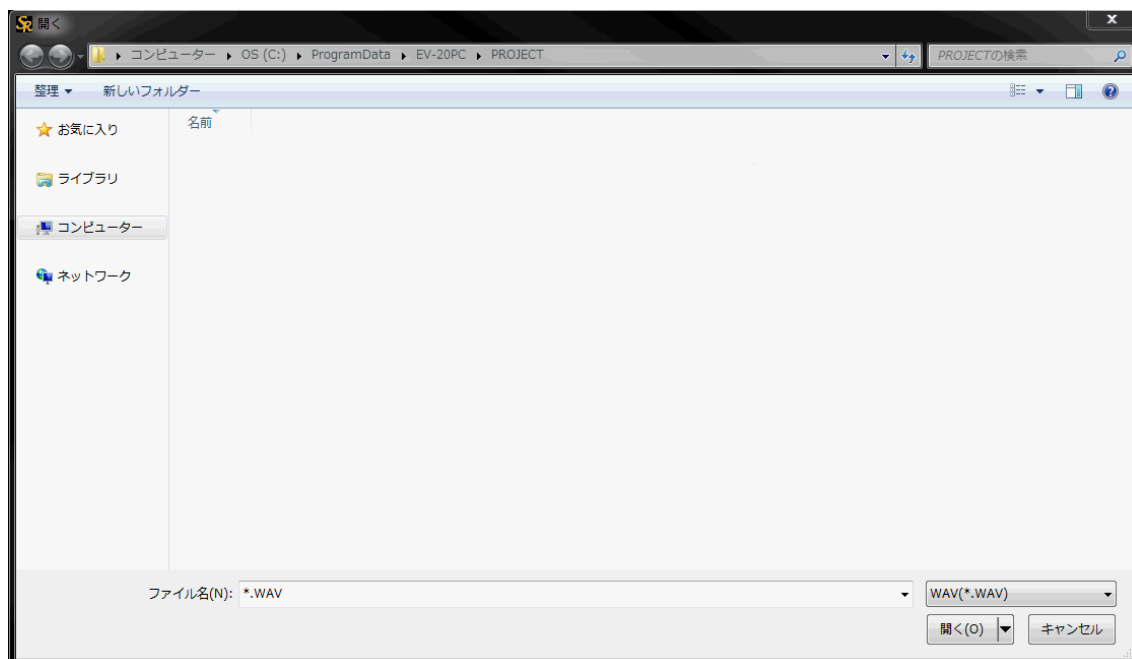


1 書き込みをしたい音源エリアの音源選択ボタンをクリックする。

ご注意

EV-20S には 4 種類の音源データを書き込むことができますが、TA-2000 シリーズ、VA シリーズ、TE シリーズのアンプに組み込んで使用する場合、No.4 に書き込んだ音源データは再生できません。

- 2** 書き込みボタンをクリックする。
ダイアログが表示されます。



- 3** 書き込みたい音源データのあるフォルダー名およびファイル名を指定し、開くボタンをクリックする。

確認のダイアログが表示されます。

ご注意

同じファイル名の音源データを複数登録することはできません。ファイル名を変更してから登録してください。



- 4** 「はい」をクリックする。

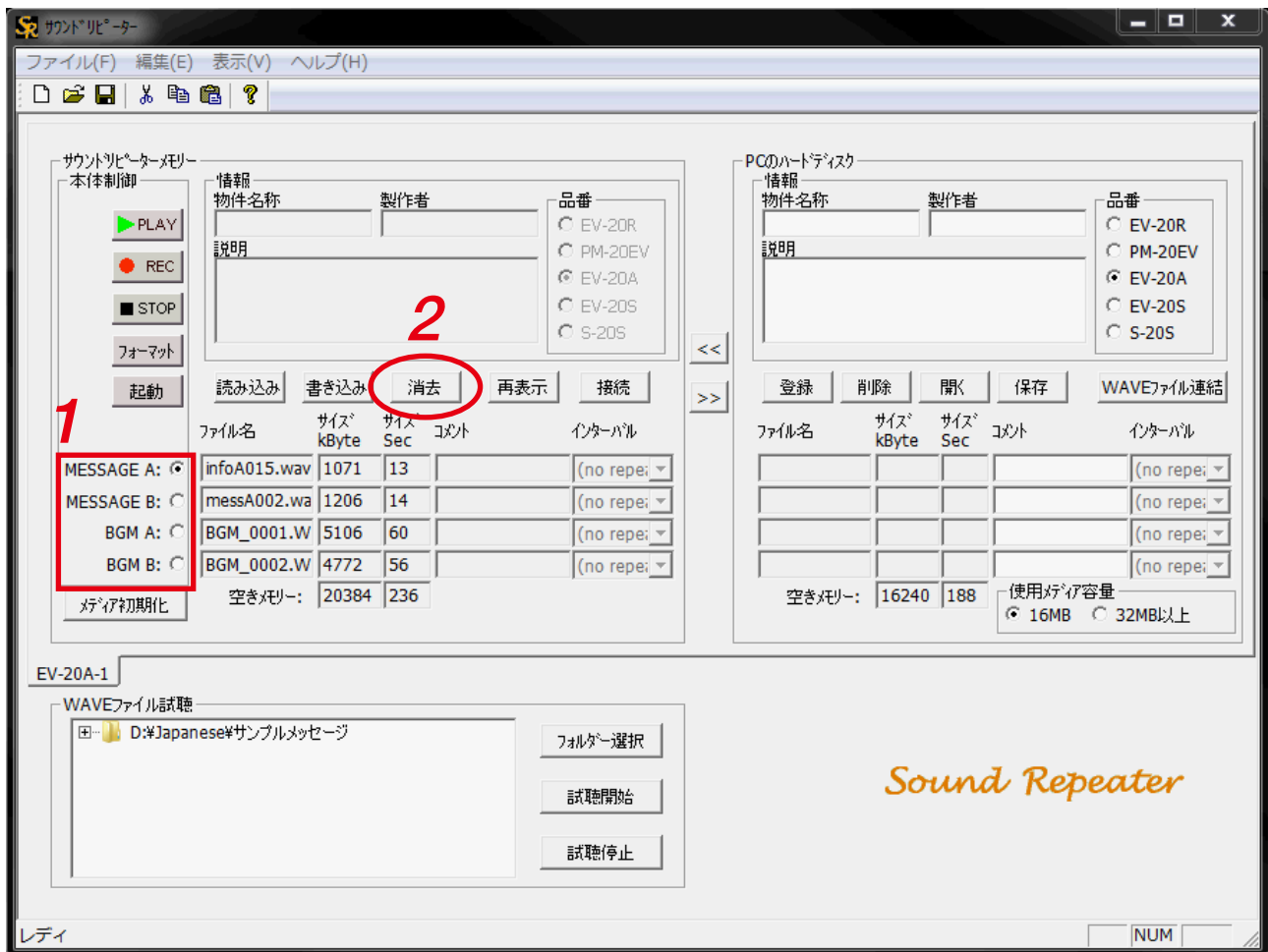
ファイル名が表示され、サウンドリピーターに音源データが書き込まれます。

メモ

すでに録音してある音源エリアに書き込むと、新しい音源データに置き換わります。

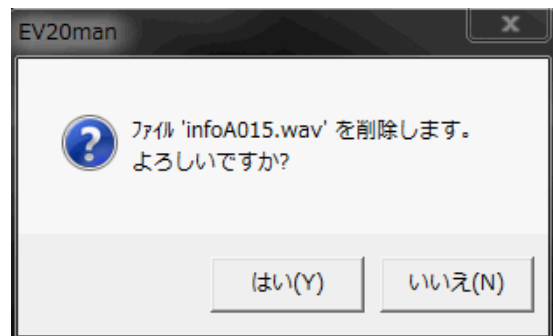


● 音源データを1つずつ消去する



1 消去したい音源データの音源選択ボタンをクリックする。

2 消去ボタンをクリックする。
確認のダイアログが表示されます。



3 ファイル名に間違いがなければ「はい」をクリックする。
サウンドリピーターに録音されていた音源データが消去されます。



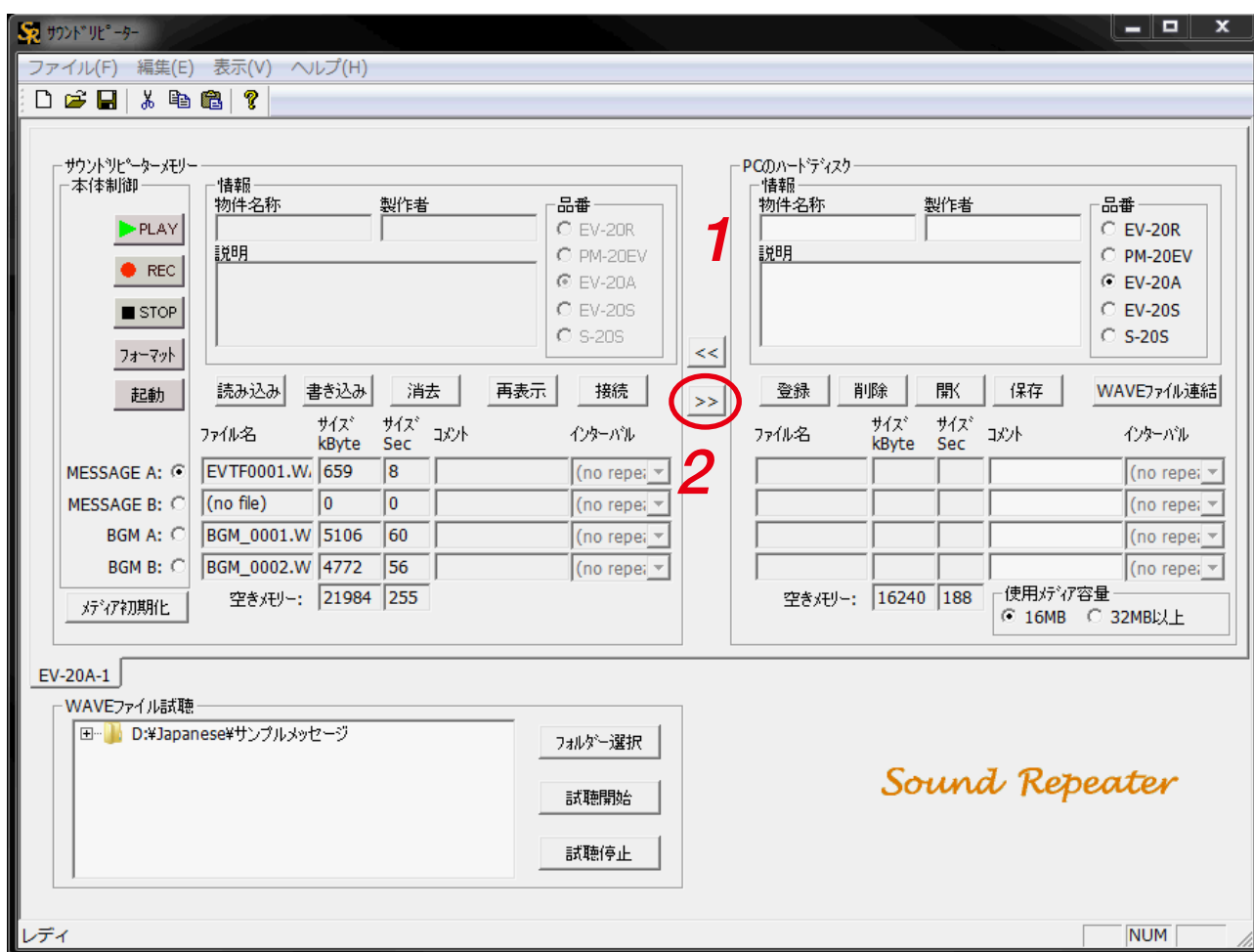
録音データをバックアップする

サウンドリピーターで録音した音源を機器単位または音源データ単位でパソコンに転送して、バックアップすることができます。

※ パソコンにサウンドリピーターを接続して、データ転送ソフトウェアを起動すると、サウンドリピーター内部の情報が自動的に読み込まれ、サウンドリピーターメモリーエリアに表示されます。表示されていない場合は、再表示ボタンをクリックするとサウンドリピーター内部の情報が読み込まれ、表示されます。

■ 機器単位でバックアップする

機器単位（物件ごと）の情報や音源データなどを PC のハードディスクエリアにコピーした後、パソコンや外部記憶媒体に保存します。



メモ

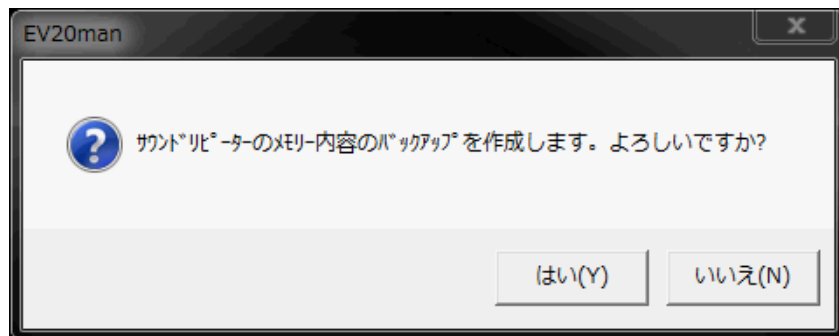
サウンドリピーター本体で録音した音源は、サウンドリピーターメモリーエリアに読み込むときに、自動的に「EVTf0001.WAV」のようなファイル名が付けられています。

1 PC のハードディスクエリアで、物件名称を入力する。

メモ

- 物件名称は全角で最大 64 文字（半角で最大 128 文字）入力できます。
- 物件名称は機器単位の情報保存するときのフォルダー名になります。

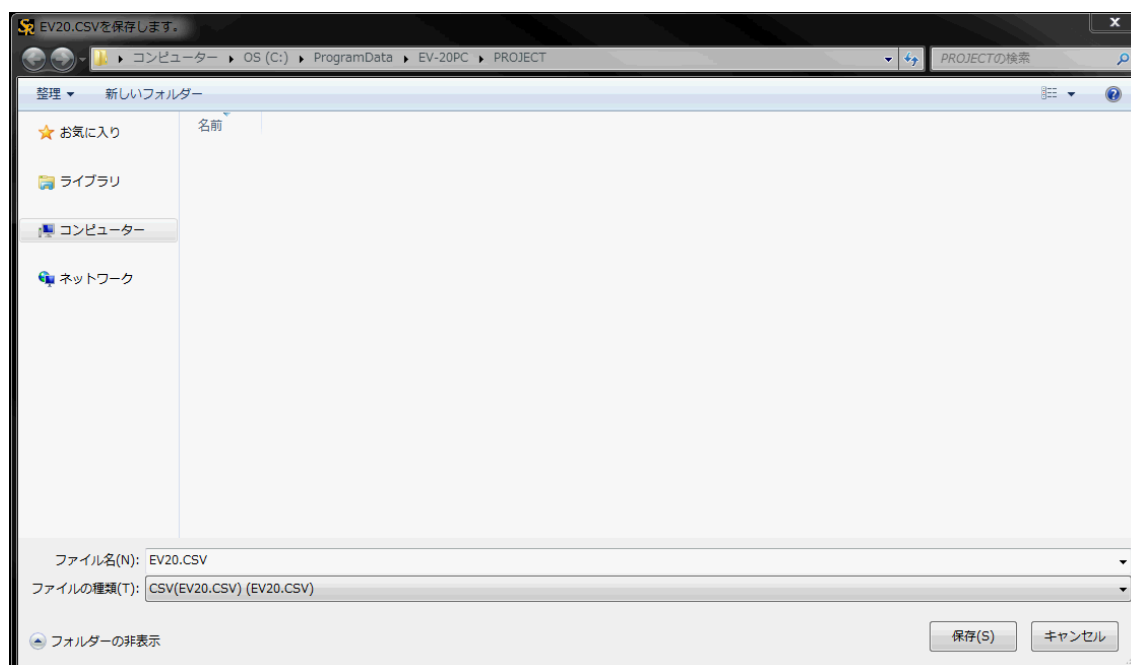
- 2** 画面中央のバックアップボタン [>>] をクリックする。
確認のダイアログが表示されます。



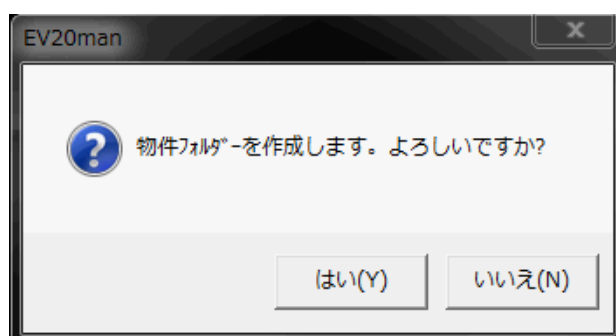
- 3** 「はい」 をクリックする。
保存先を指定するためのダイアログが表示されます。

ご注意

物件名称が未入力の場合は、保存できません。物件名称を入力してください。



- 4** 物件に関する情報を保存するファイル（EV20.CSV）の格納先を指定し、保存ボタンをクリックする。
確認のダイアログが表示されます。



ご注意

ファイル名 (EV20.CSV) は変更しないでください。変更しても自動的に EV20.CSV に変えて保存されます。

5 「はい」をクリックする。

物件名称と同じ名称のフォルダーが作成され、その中に EV20.CSV が保存されます。
保存が完了すると、ダイアログが表示されます。



ご注意

作成されたフォルダー内のファイルを削除したり、名称を変更したりしないでください。

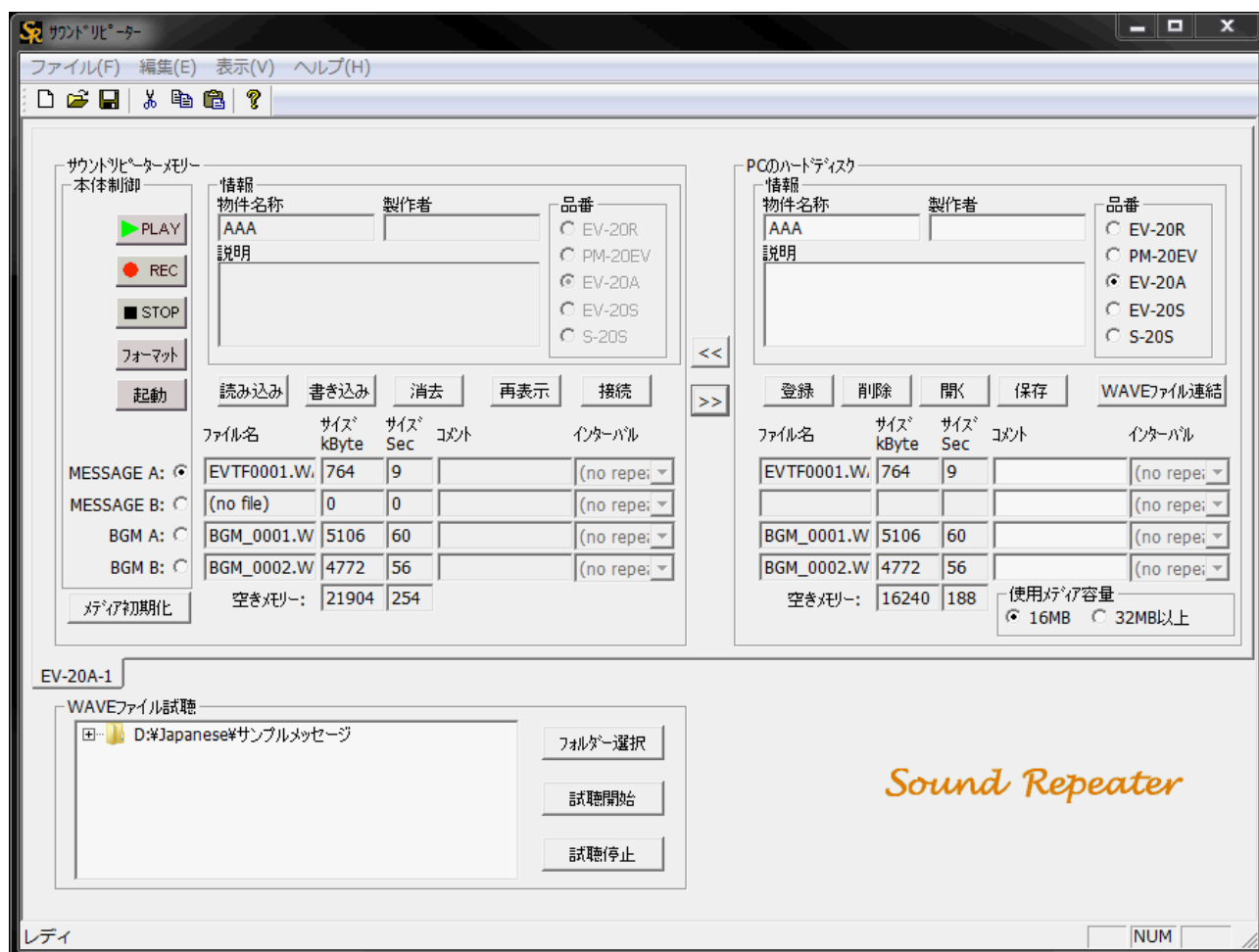
6 OK ボタンをクリックする。

サウンドリピーターのメモリーの内容が、作成されたフォルダー内にバックアップされ、PC のハードディスクエリアに表示されます。

また、手順 1 で入力した物件名称は、サウンドリピーターメモリーエリアにも反映されます。

メモ

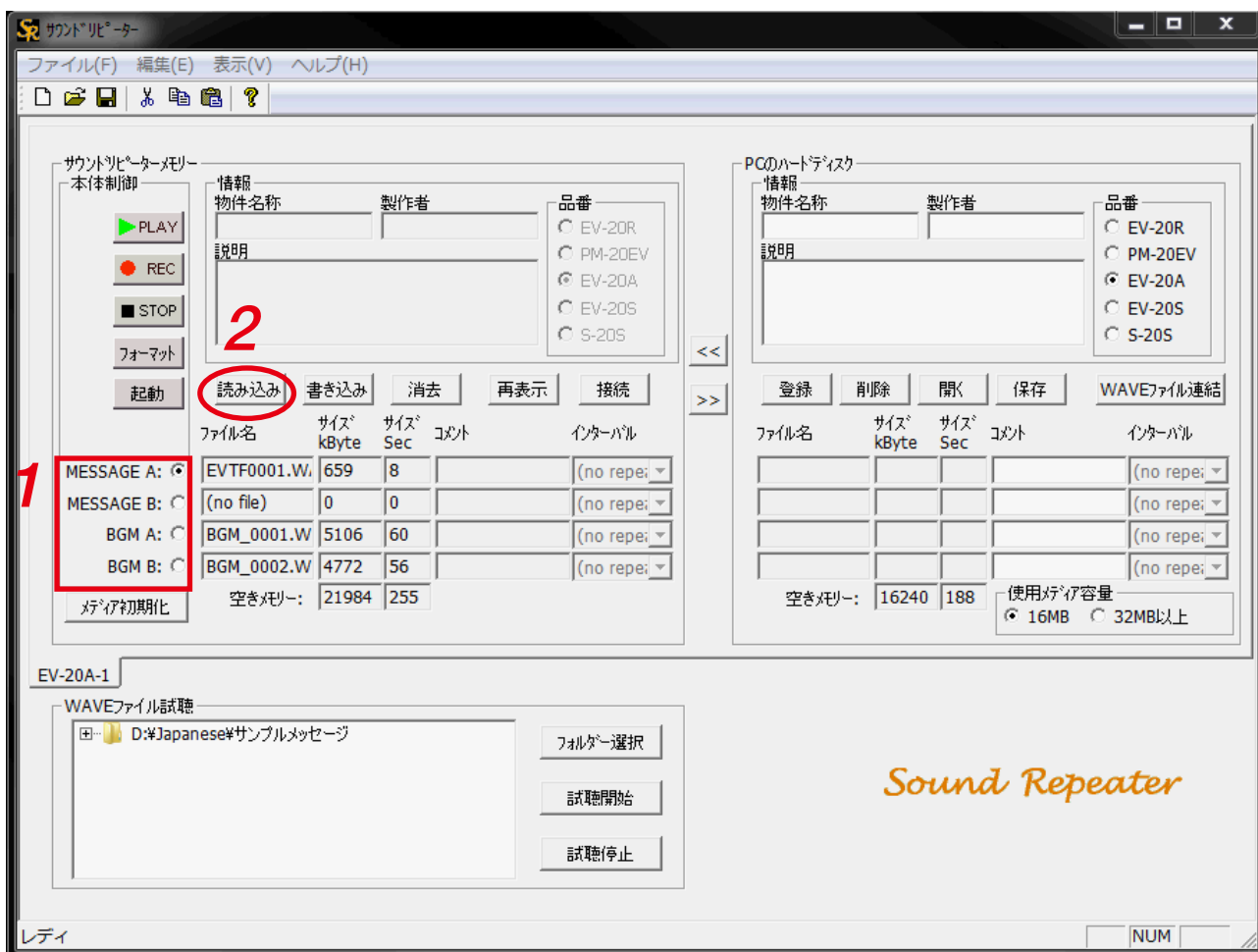
転送に必要な時間は、転送するファイルの大きさにより異なります。(転送時間：最大 3 分)



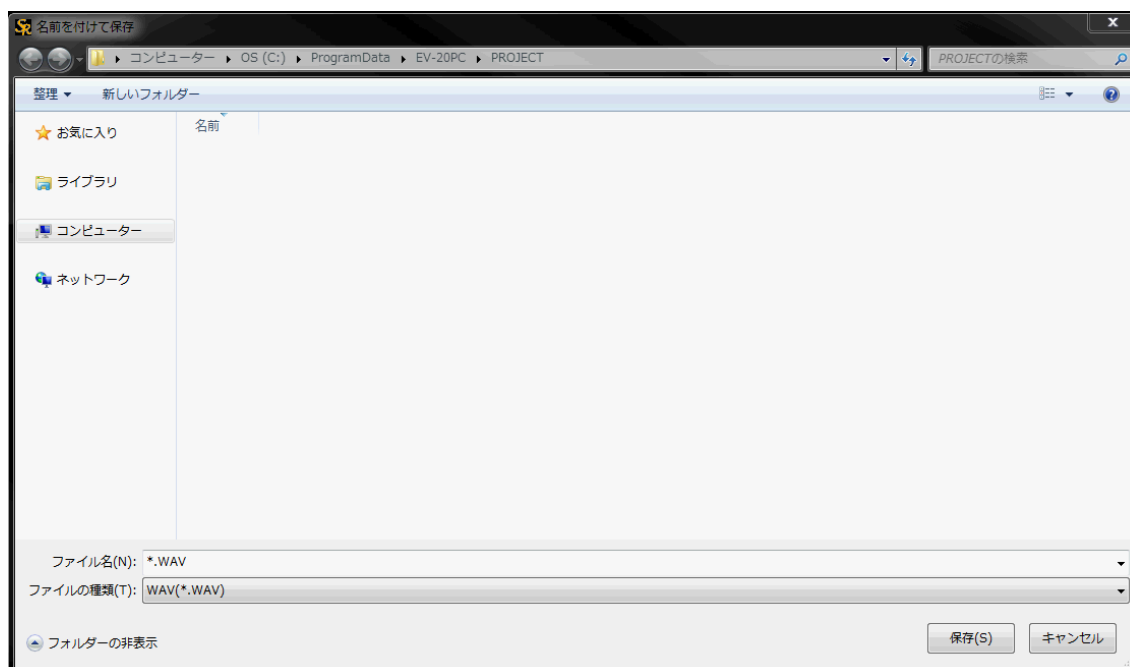
■ 音源データを1つずつバックアップする

サウンドリピーターに録音された音源のみをファイル化して、パソコンや外部記憶媒体に保存したい場合は、サウンドリピーターメモリーエリアで行います。

1 バックアップしたい音源データの音源選択ボタンをクリックする。



2 読み込みボタンをクリックする。 保存先を指定するためのダイアログが表示されます。



3 保存先を指定し、必要に応じてファイル名を変更して、保存する。

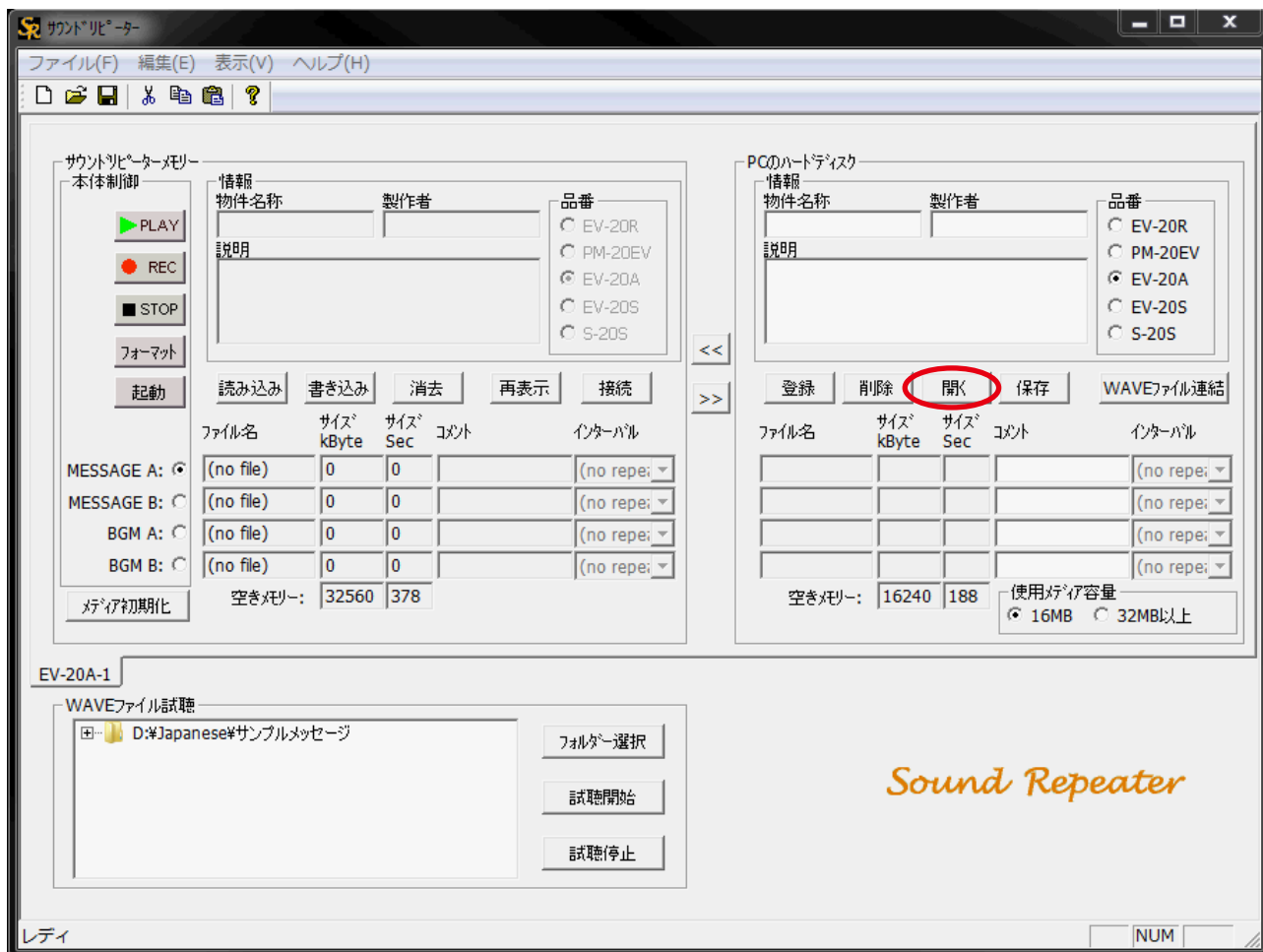
ご注意

バックアップするファイルのファイル名は変更できますが、サウンドリピーター本体にある元のファイル名はサウンドリピーターメモリーエリアで変更することはできません。元のファイル名を変更したいときは、読み込みのときにファイル名を変更した後、書き込みによりファイル名を変更したファイルを書き込んでください。

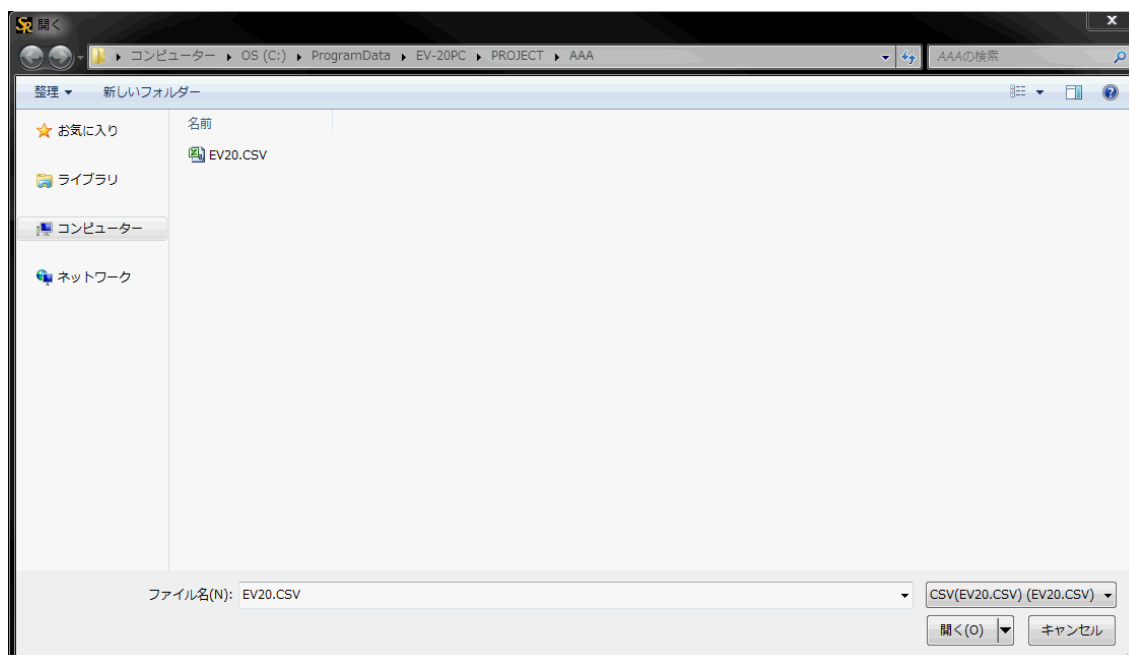
バックアップデータを転送する

パソコンにバックアップした機器単位（物件単位）のデータを再度サウンドリピーターに転送して使用することができます。

1 開くボタンをクリックする。

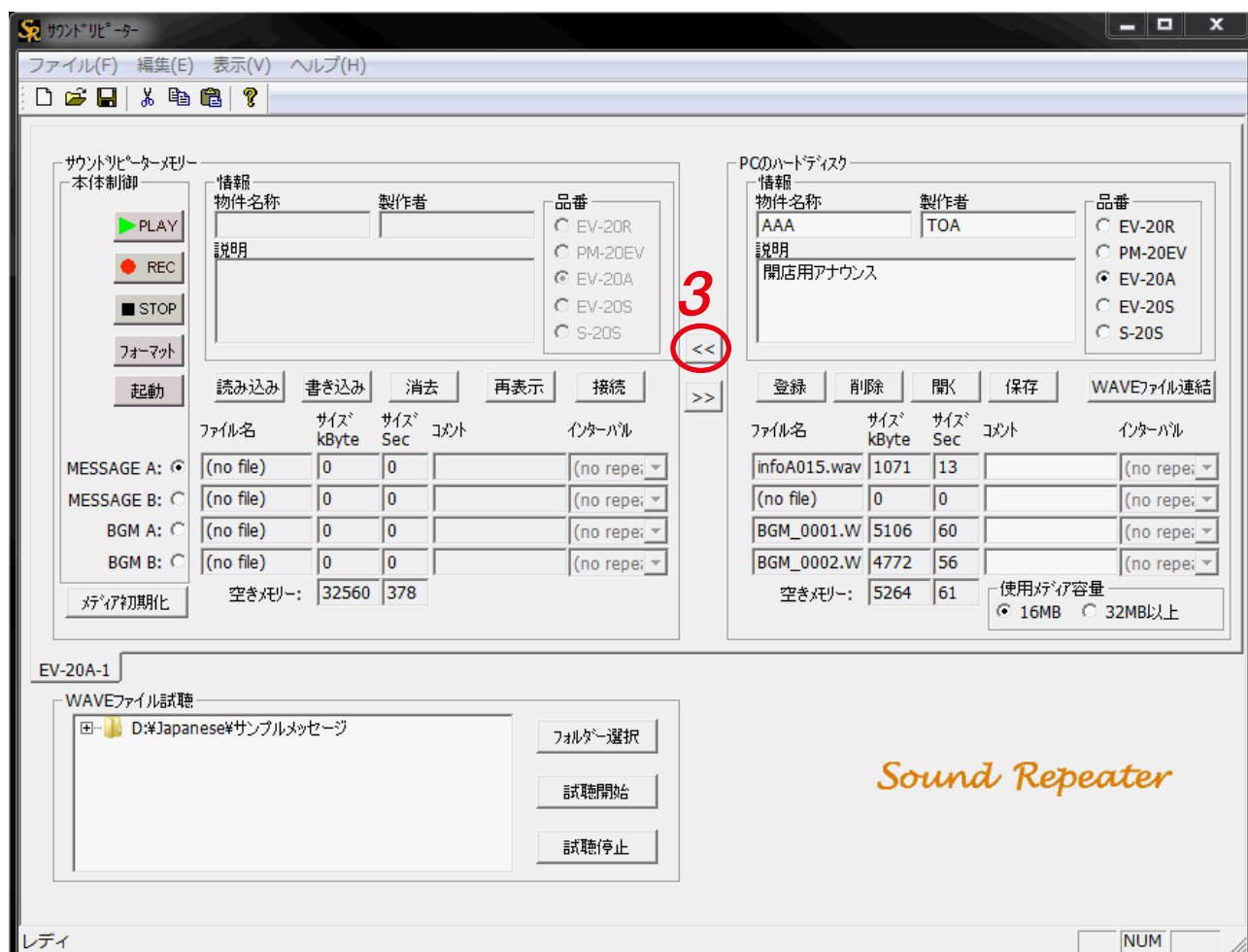


ダイアログが表示されます。



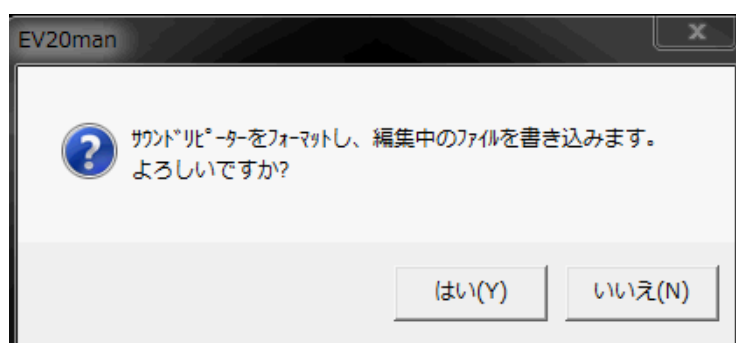
2 開きたい物件名称のフォルダー内にある「EV20.CSV」ファイルを選択して、開くボタンをクリックする。

保存されていた機器単位（物件単位）の情報が読み出され、PCのハードディスクエリアに表示されます。

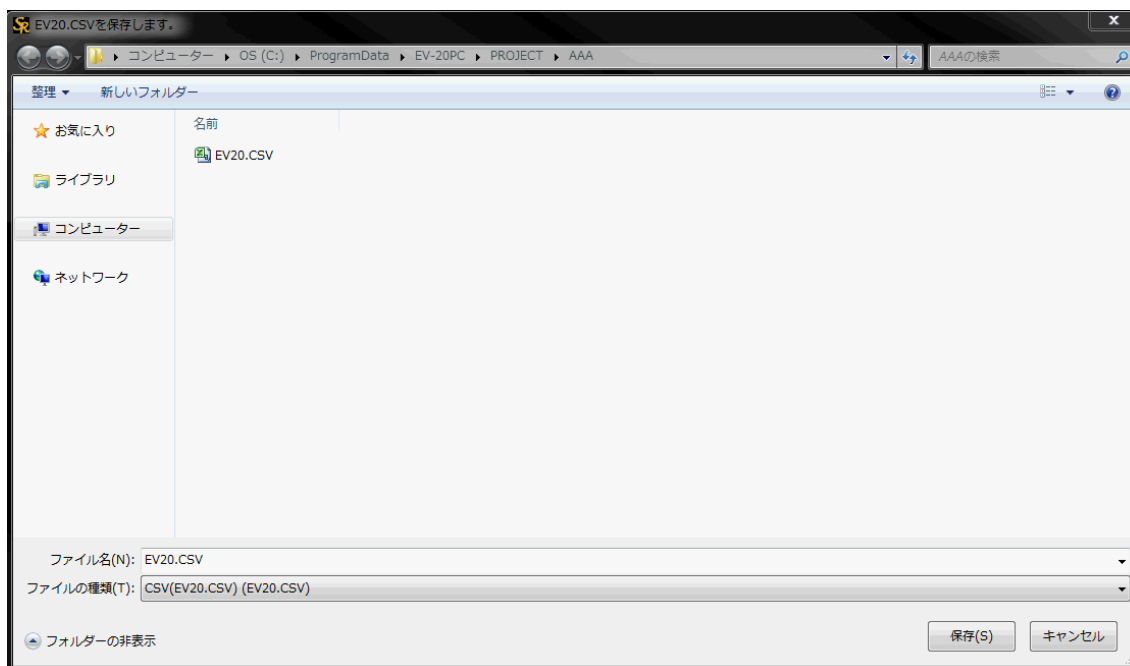


3 画面中央の一括書き込みボタン [<<] をクリックする。

確認のダイアログが表示されます。



- 4** 「はい」をクリックする。
保存先を指定するためのダイアログが表示されます。



- 5** 保存先を指定し、保存ボタンをクリックする。
保存先に変更がなければ、バックアップされていたフォルダー内に、登録した情報が保存されます。
保存が完了すると、ダイアログが表示されます。

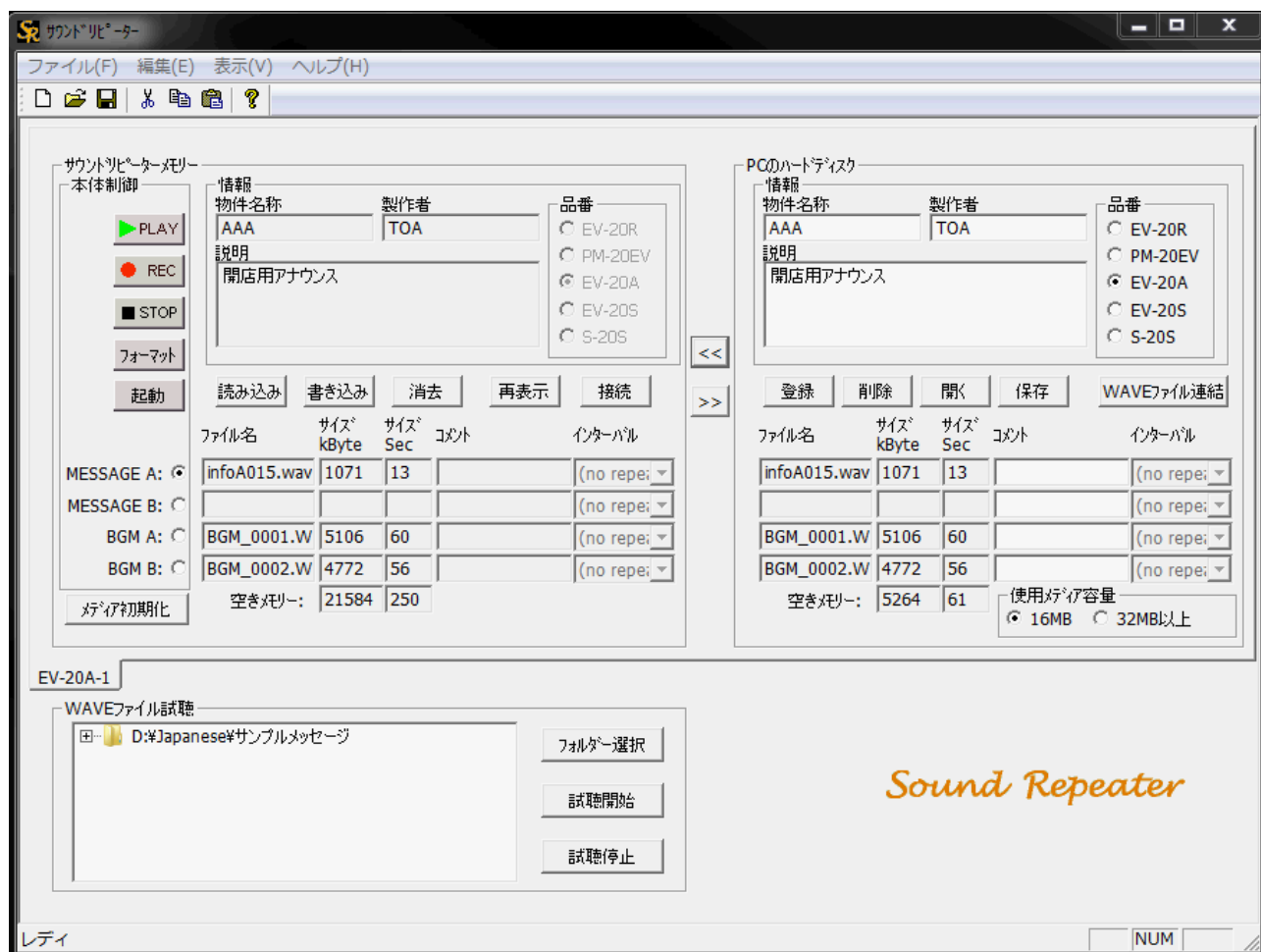


6 OK ボタンをクリックする。

サウンドリピーターがフォーマットされた後、PC のハードディスクエリアの情報がサウンドリピーターメモリーエリアにコピーされ、サウンドリピーターに書き込まれます。

メ モ

一括書き込みに必要な時間は、転送するファイルの大きさにより異なります。(転送時間：最大 3 分)



サウンドリピーター本体を制御する

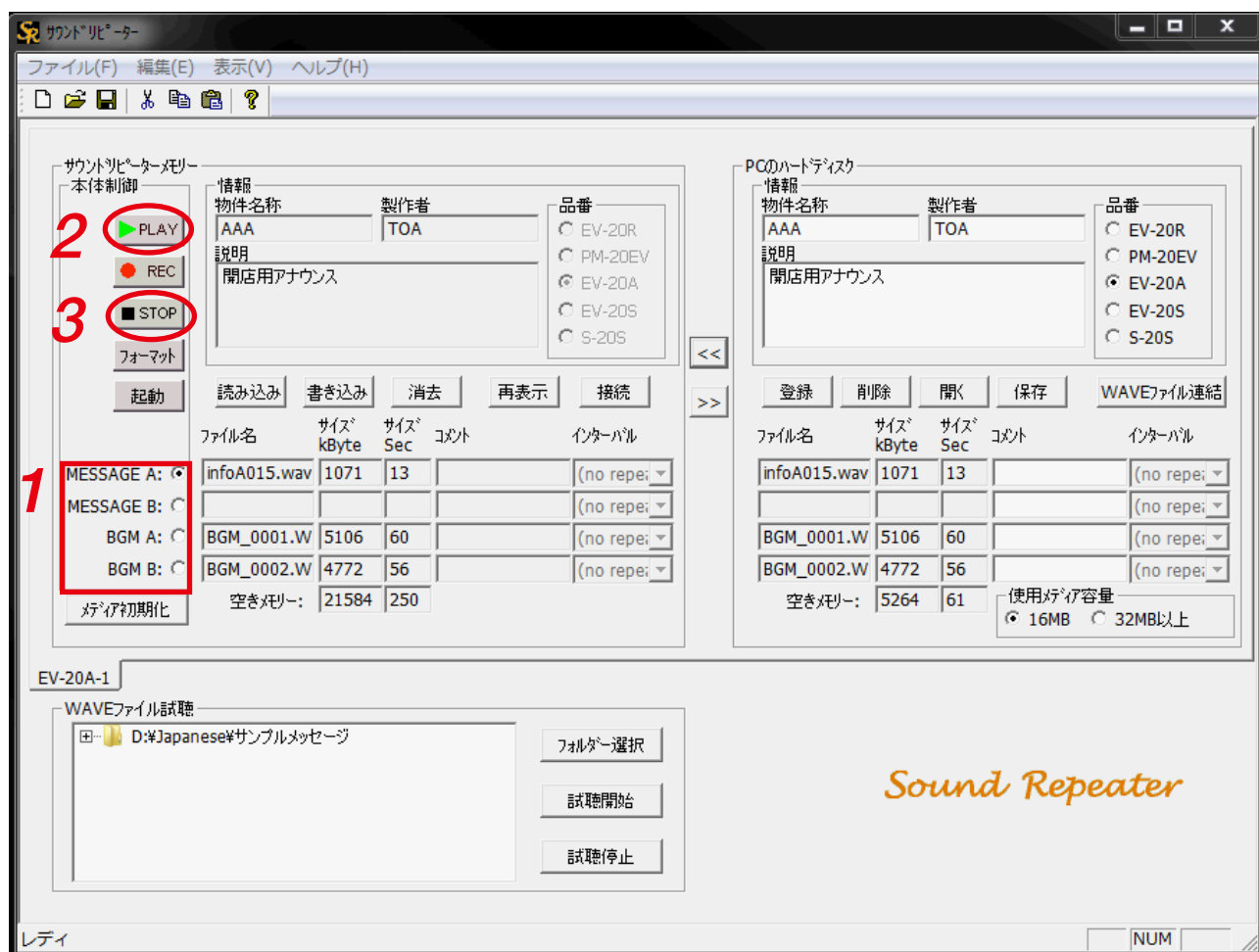
接続されたサウンドリピーターをパソコンから操作することができます。(一部の機能のみ)

● 再生する

録音した内容をパソコンから起動して再生します。選択した音源データを1つずつ再生します。

メ モ

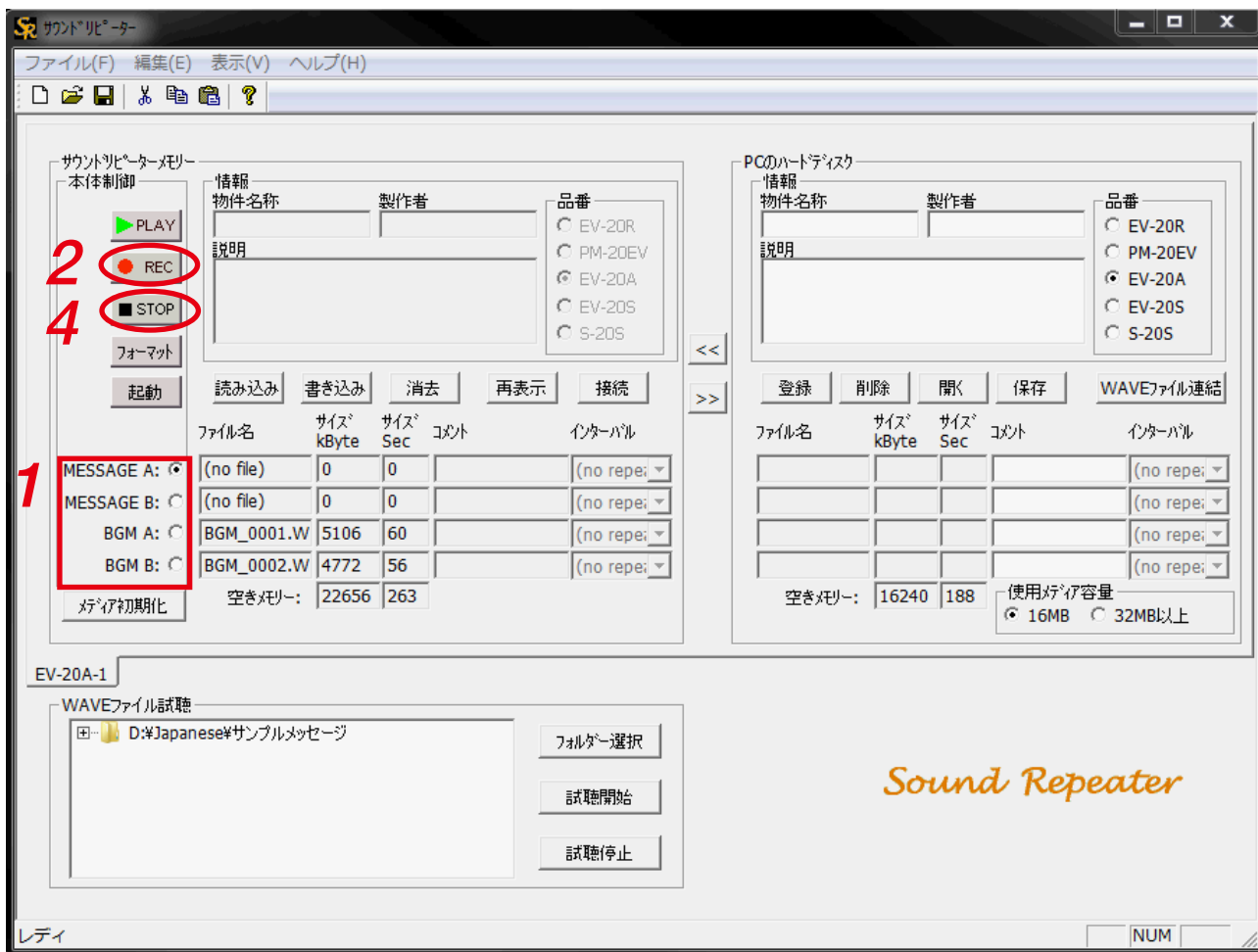
EV-20A の場合、再生ボタンによる再生は、「音楽」を常に再生しながら「メッセージ」を再生するという、本体での操作による再生動作とは異なります。



- 1 再生したい音源データの音源選択ボタンをクリックする。
- 2 再生ボタンをクリックする。
選択した音源データが再生されます。
- 3 再生を途中で停止させるときは、停止ボタンをクリックする。

● 録音する（EV-20S を除く）

選択した音源エリアにパソコンから起動して録音することができます。サウンドリピーター本体の録音キーで操作したときと同様の動作です。



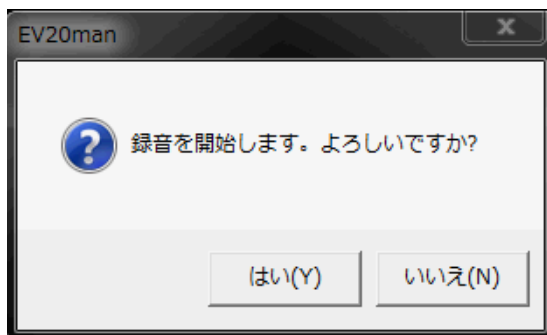
- 1** 録音したい音源エリアの音源選択ボタンをクリックする。

ご注意

PM-20EV の場合、前置チャイムおよび後置チャイムの録音はできません。

- ## 2 録音ボタンをクリックする。

確認のダイアログが表示されます。



- 3** 「はい」をクリックし、サウンドリピーター本体の表示灯が点滅から点灯に変わったら、マイクホンまたはCDプレーヤーなどから録音を開始する。

ご注意

録音開始時のサウンドリピーター本体の動作は、本体の録音キーを押したときと同じです。表示灯で録音開始のタイミングを確認してください。(PM-20EV の場合は、チャイム音でも確認できます。)

- #### 4 録音を停止させるときは、停止ボタンをクリックする。

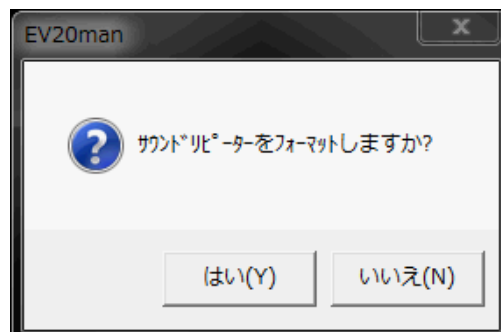
● フォーマットをする

サウンドリピーター内部のメモリーを初期化します。スマートメディアを使用する機種の場合は、サウンドリピーター本体に装着されているスマートメディアをサウンドリピーター用にフォーマットします。すべての音源エリアのデータを一括で消去します。サウンドリピーター本体のキーで行う一括消去と同様の動作です。（本体側では一括消去できない機種もあります。）

1 フォーマットボタンをクリックする。



確認のダイアログが表示されます。



2 「はい」をクリックする。

サウンドリピーターに録音されている音源エリアのすべてのデータが消去されます。

メモ

- フォーマットの所要時間は約 50 秒です。
- フォーマット中のサウンドリピーター本体の動作は、本体のキーで一括消去の操作をしたときと同じです。（本体側では一括消去できない機種もあります。）

3 付属の CD-ROM にある音源を本体に書き込む。

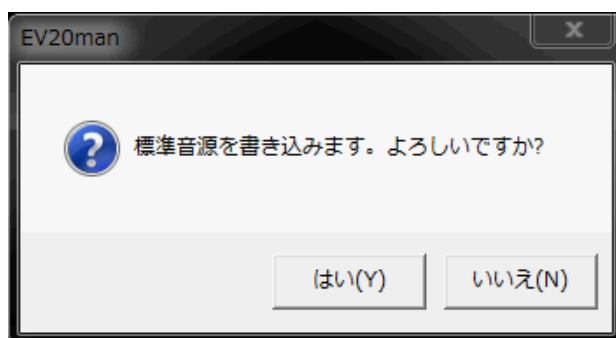
書き込まない場合は、表示されるダイアログで「いいえ」ボタンをクリックしてください。

ご注意

標準音源（EV-20R）、標準チャイム（PM-20EV）、標準 BGM（EV-20A）を書き込む場合は、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入しておいてください。

3-1 EV-20R の場合

標準音源を入れるかどうかの確認のダイアログが表示されるので、標準音源を入れる場合は「はい」をクリックします。



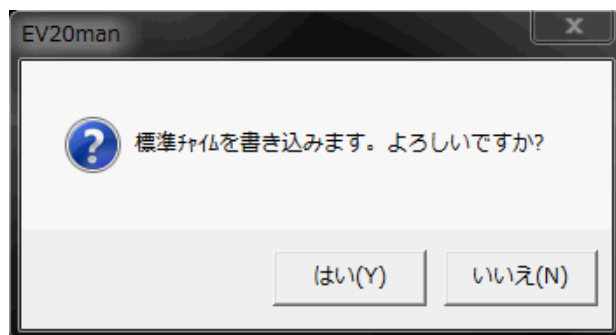
メモ

音源を工場出荷時*1の状態に戻したいときは、この手順で音源を入れます。

- *1 メッセージ 1：sign0010.wav ウエストミンスター
 - メッセージ 2：sign0025.wav 上り 4 音チャイム
 - メッセージ 3：sign0020.wav 下り 4 音チャイム
- これらの音源は、CD-ROM 内にある「サンプルメッセージ」フォルダーに入っています。

3-2 PM-20EV の場合

標準チャイムを入れるかどうかの確認のダイアログが表示されるので、チャイムを入れる場合は「はい」をクリックします。



メモ

フォーマットをするとチャイムも消去されますので、チャイムを工場出荷時*2の状態に戻したいときは、この手順でチャイムを入れます。

- *2 前置チャイム：sign0025.wav 上り 4 音チャイム
 - 後置チャイム：sign0020.wav 下り 4 音チャイム
- これらのチャイム音は、CD-ROM 内にある「サンプルメッセージ」フォルダーに入っています。

3-3 EV-20A の場合

標準 BGM を入れるかどうかの確認のダイアログが表示されるので、BGM を入れる場合は「はい」をクリックします。



メモ

フォーマットをすると標準 BGM も消去されますので、BGM を工場出荷時*の状態に戻したいときは、この手順で標準 BGM を入れます。

* BGM A : bgm_0001.wav

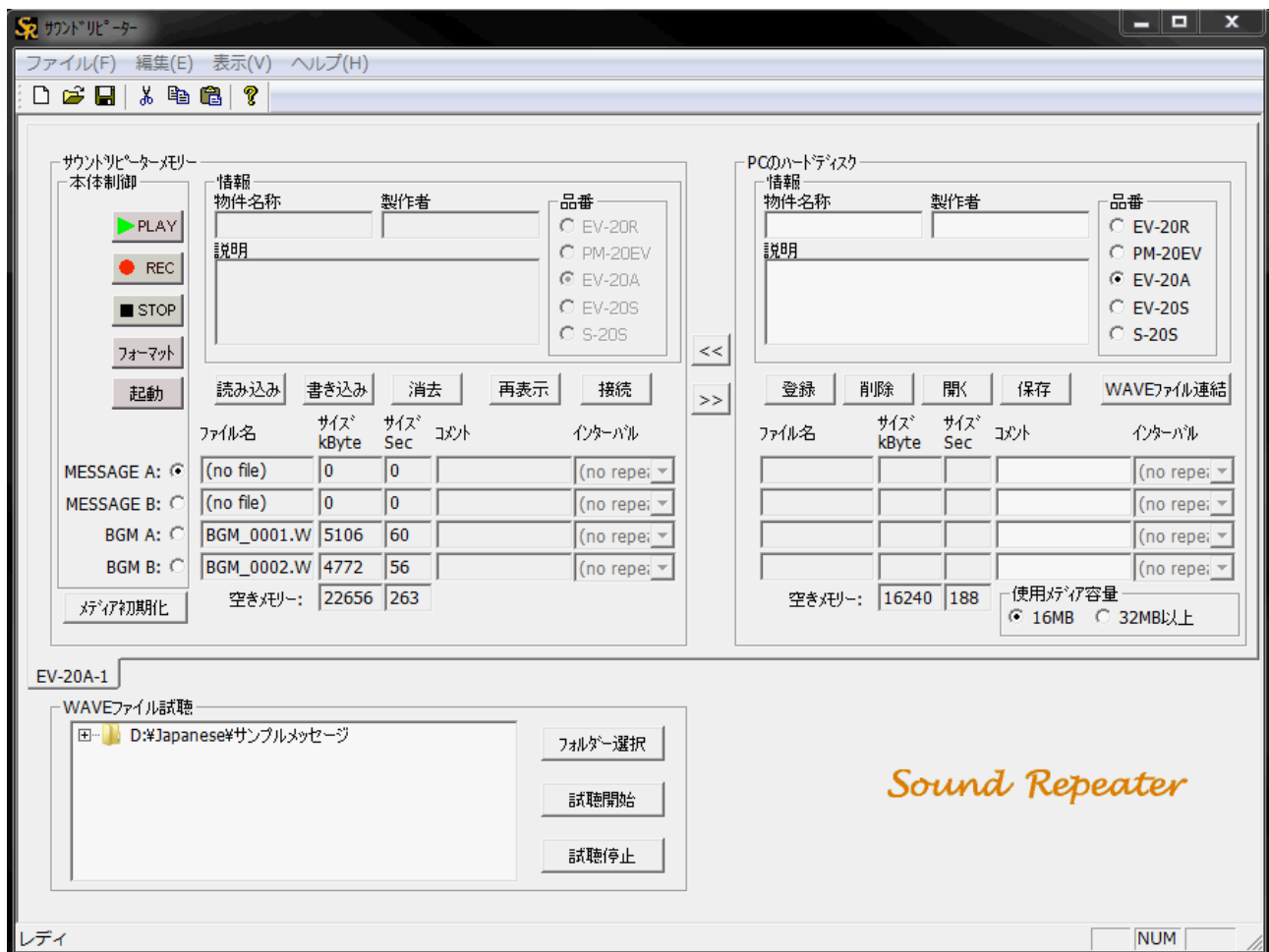
BGM B : bgm_0002.wav

これらの BGM は、CD-ROM 内にある「サンプルメッセージ」フォルダーに入っています。

ダイアログが表示されます。



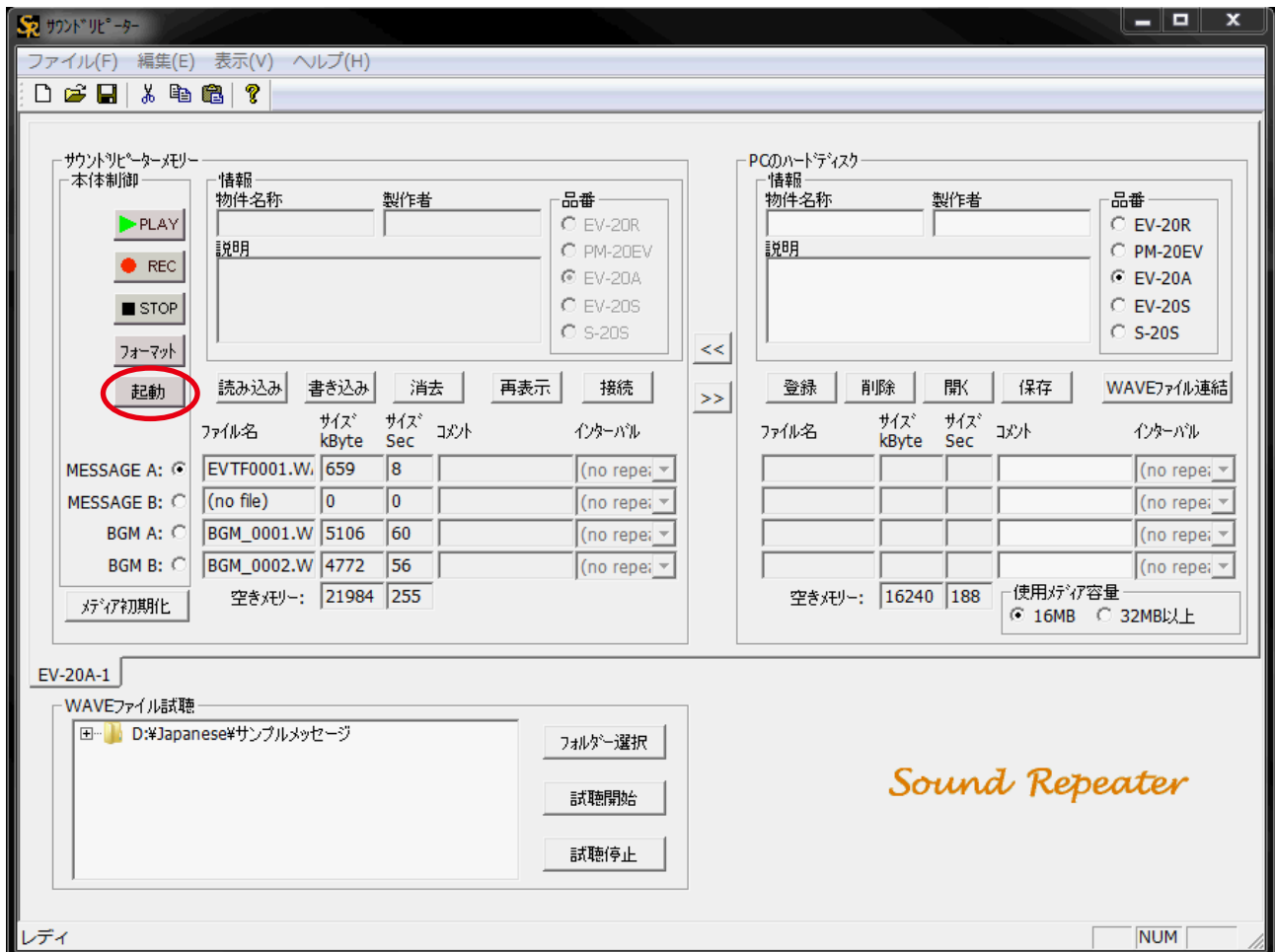
4 OK ボタンをクリックする。



● 起動する (EV-20A のみ)

このソフトウェアで設定やファイル送受信を行った後、EV-20A を動作させるときに、起動ボタンを使います。

※ EV-20A 本体の録音／再生選択スイッチを右側（再生時の設定）にしておく必要があります。



1 起動ボタンをクリックする。

本体で設定された動作状態になります。

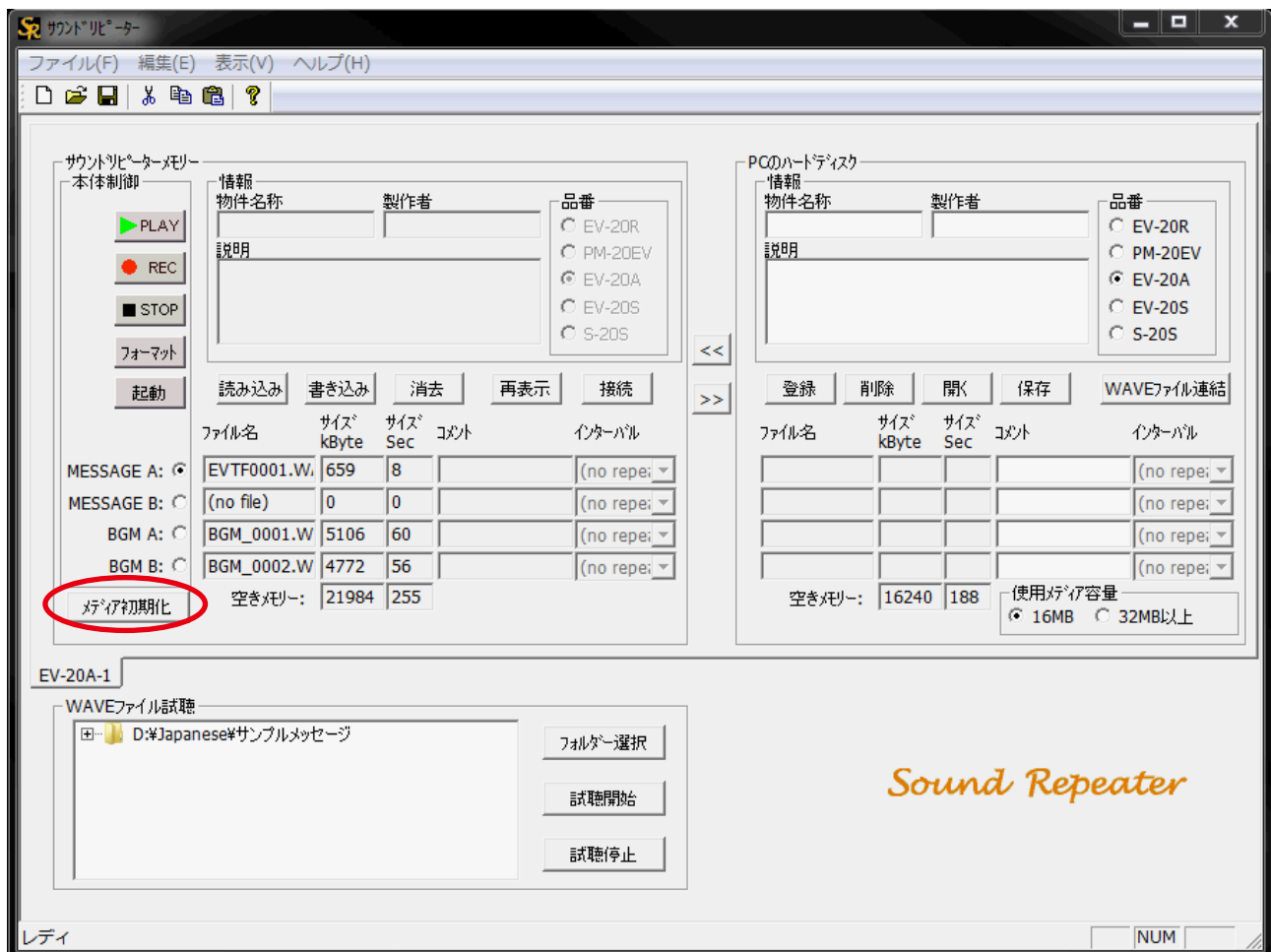
メ モ

画面上の音源エリアの選択には関係なく動作します。

2 動作を途中で停止させるときは、停止ボタンをクリックする。

● スマートメディアを初期化する (EV-20A のみ)

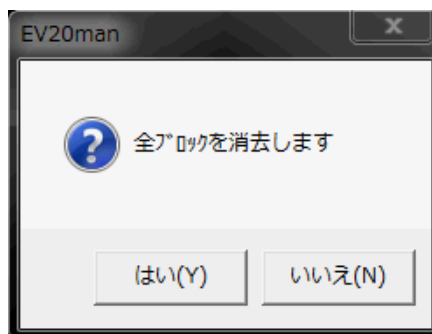
EV-20A に付属のスマートメディアやフォーマットボタンでフォーマットしたものは、サウンドリピーター以外の機器では使用できません。メディア初期化ボタンを押すと、本体に装着されているスマートメディアがパソコンやデジタルカメラなどで使用できるように初期化できます。



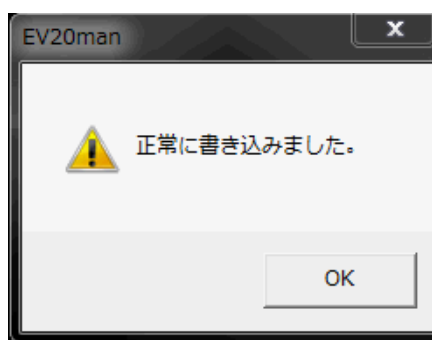
- 1 メディア初期化ボタンをクリックする。
確認のダイアログが表示されます。



- 2** 開始ボタンをクリックする。
確認のダイアログが表示されます。



- 3** 「はい」をクリックする。
本体に装着されているスマートメディアが初期化されます。
終了するとダイアログが表示されます。



- 4** OK ボタンをクリックする。

故障かな？と思ったら

[音源データの転送ができないとき]

調べるところ	処 置
USB ケーブルは正しく接続されていますか？	USB ケーブルをいったん引き抜き、もう一度差し込んでください。
サウンドリピーターに電源が供給されていますか？	サウンドリピーターに電源を供給してください。
WAVE ファイル名に全角文字を使用していませんか？	ファイル名を 8.3 形式（半角英数字またはアンダーバー 8 文字以下、拡張子は WAV）に変更してください。

[登録、書き込みができないとき]

調べるところ	処 置
同じ名称のファイルを複数登録、または書き込みしようとしていませんか？	ファイル名を変更してください。

[「ファイルが不正です」と表示されるとき]

調べるところ	処 置
使用する WAVE ファイルは P. 20 の仕様を満たしていますか？	WAVE ファイルを本書記載の仕様に変更してください。

[USB ドライバーがインストールできないとき]

調べるところ	処 置
USB ケーブルは正しく接続されていますか？	USB ケーブルをいったん引き抜き、もう一度差し込んでください。
ご使用のパソコンが、USB 使用可能な状態になっていますか？	サウンドリピーターとパソコンを接続するときに、「ソフトウェアのインストールのしかた」手順 9 の画面が表示されないときは、パソコン側の設定が USB を使用しないように設定されている場合があります。次の方法で、パソコンの設定を確認してください。 1 [スタート→コントロールパネル] からすべてのコントロールパネル項目を表示させる。 2 [ハードウェアとサウンド→デバイスマネージャー] をクリックする。 3 [ユニバーサルシリアルバスコントローラー] や [USB Root Hub] に、「！」や「×」がないことを確認する。 「！」や「×」が表示されているときは、USB が使用できるように設定してください。設定のしかたは、パソコンの取扱説明書をお読みください。
不明なデバイスが登録されていませんか？	ドライバーを正しくインストールできなかったとき、サウンドリピーターは「不明なデバイス」として認識されてしまうことがあります。その後は、インストールができなくなることがあります。次の方法で、「不明なデバイス」を削除してください。 1 [スタート→コントロールパネル] からすべてのコントロールパネル項目を表示させる。 2 [ハードウェアとサウンド→デバイスマネージャー] をクリックする。 3 [ほかのデバイス] がないかを確認する。 4 [ほかのデバイス] があるときは、そのタブをクリックする。 その下に [不明なデバイス] があるときは、それを選択して削除する。 5 USB ケーブルをいったん抜き取り、もう一度差し込んでからインストールし直す。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日除く)		

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

201901